

# 研 究 活 動 状 況

(2007年4月～2008年3月)



# 研究活動状況

(2007.4 ～ 2008.3)

(研究活動成果の分類)

分類 記号	
A	著書
B	研究論文Ⅰ (査読のある学会誌等に掲載された研究論文)
C	研究論文Ⅱ (査読のある会議の会議録等に掲載された研究論文)
D	学術誌 (査読なし学術誌等(紀要を含む)に掲載された研究論文)
E	報告書 (調査報告書や科学研究費補助金成果報告書等)
F	講演Ⅰ (学会, 研究集会等での研究発表(招待講演, 基調講演を含む))
G	講演Ⅱ (研究会, 講習会, 研修会等での研究成果の公開)
H	演奏会, 作品展示, 競技会, 報道・出演等
I	助成金 (科学研究費補助金等, 分担も含む)
J	その他

分類 記号	研究業績名（タイトル）等 （単著・共著，単独・共同，代表・分担等の別）	雑誌，号（巻），ページ，出版社等 （会場等）	発行 年月
<b>学校教育講座</b>			
内野 康人之			
G1	栃木県看護協会実習指導者講習会「教育評価」講師	栃木県看護協会	07. 09
G2	埼玉県専修学校教職課程教員研修会「教育方法論」講師	埼玉県専修学校各種学校教育振興会	07. 09
橘川 眞彦			
D1	中学生における学校適応感に影響を及ぼす要因（3） 一部活動適応感及び総合学校適応感について－ （共著）	宇都宮大学教育学部紀要，第58号， 第1部，pp. 1-19	08. 03
D2	教育心理学関連の教職専門科目に対する意識涵養の 取り組み（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合セ ンター紀要，第30号，pp. 85-92	07. 07
D3	中学生の高校進学動機が時間的態度に及ぼす影響 （共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合セ ンター紀要，第30号，pp. 153-163	07. 07
D4	中学生における規範意識とそれに影響を及ぼす要因 （共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合セ ンター紀要，第30号，pp. 165-173	07. 07
山本 誠一			
D1	心理療法における「想像力」による元型的布置	人間科学研究，第9号，pp. 45-61	08. 03
D2	教育心理学関連の教職専門科目に対する意識涵養の 取り組み（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合セ ンター紀要，第30号，pp. 85-92	07. 07
G1	栃木県看護協会実習指導者講習会「教育心理」講師	栃木県看護協会	07. 08
渡邊 弘			
A1	学校道德教育入門（単著）	東洋館出版社	07. 04
D1	戦後日本における「教育勅語」廃止論争についての 一考察－公民教育刷新委員会と教育刷新委員会を中 心に－	宇都宮大学教育学部教育実践総合セ ンター紀要，第30号，pp. 105-113	07. 07
G1	新時代を拓く創価教育－三代にわたる精神の継承－	東京・戸田記念会館	07. 05
G2	灰谷健次郎・山田洋次・宮城まり子に学んで－教育 の原点としての人間へのまなざし－	栃木県大田原市野沢金田北地区公民 館	07. 08
G3	一茶・生きとし生けるものの世界	長野・一茶記念館	07. 09
G4	一茶と賢治－〈いのち〉の世界－	宇都宮市西生涯学習センター	07. 10
G5	子どもが健やかに育つための学校・地域・家庭のか かわり方	宇都宮市西生涯学習センター	07. 09
青柳 宏			
D1	「模倣」としての詩	宇都宮大学教育学部教育実践総合セ ンター紀要，第30号，pp. 115-125	07. 07
D2	「経験の見つめ直し」としての詩	宇都宮大学教育学部教育実践総合セ ンター紀要，第30号，pp. 127-137	07. 07
D3	子どもの「学び」と授業研究（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合セ ンター紀要，第30号，pp. 139-152	07. 07
D4	発達障害としての思春期のコミュニケーション危機	思春期学，第25巻 第4号，pp. 371- 375	07. 12
長谷川 万由美			
B1	自家用有償運送運営協議会にみるローカル・ガバナ ンスから移動の課題を地域でどう支えるか	地域福祉研究 第36集（日本生命済生 会），pp. 28-36	08. 03
C1	親・先生が互いに気づいてほしいこと	児童心理・臨時増刊 第61巻 第12号， 金子書房，pp. 132-137	07. 08



E1	栃木県の最新のバリアフリー・ユニバーサルデザインの取り組み状況について	日本福祉のまちづくり学会国際シンポジウム「ユニバーサルなまちづくり 東アジアの現状と連携」資料集	07. 06
F1	発達障害の観点からみたバリアフリーの促進	平成19年度日本福祉のまちづくり学会大会（埼玉）	07. 08
F2	子育てバリアフリー	第3回福祉交通セミナー子育て支援分科会	07. 10
G1	親の現状と親支援のあり方について	第2回親学習プログラム指導者養成研修	07. 09
H1	エンサイクロペディア社会福祉学（項目：社会福祉と公私関係）	中央法規出版	07. 12
I1	福祉NP0の連合組織の役割及び連合組織内のNP0間関係に関する研究（代表）	平成17-19年度科学研究費補助金、基盤研究（C）	07. 04
J1	高齢者、障害者の生活を支える移動サービス	NORMA ノーマ社協情報4月号	07. 04

#### 上原 秀一

A1	文部科学省編「諸外国の教育の動き2006」（共著）	pp. 72-126, 国立印刷局発行	07. 06
F1	フランス教育法における知識と価値の伝達に係る基本原則（単独）	フランス教育学会第25回大会（宇都宮大学）	07. 09
G1	山梨学院大学附属小学校教員研修会「フランスの小学校教育」講師（単独）	山梨学院大学附属小学校	07. 12
J1	<世界の動き>「共通基礎」による学力改革推進—学校基本計画法に基づく教育改革・仏（単著）	内外教育, 第5744号, pp. 2-4, 時事通信社	07. 06
J2	研究情報 2006年のフランス教育の動き（単著）	フランス教育学会紀要, 第19号, pp. 115-118	07. 09

#### 澤田 匡人

A1	心理測定尺度集Ⅳ—子どもの発達を支える<対人関係・適応>—（共著）	pp. 104-114, 291-337, サイエンス社	07. 04
A2	ヒューマン・ディベロップメント（共著）	pp. 142-152, ナカニシヤ出版	07. 05
D1	教育心理学関連の教職専門科目に対する意識涵養の取り組み（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 85-92	07. 07
F1	社会的感情の制御と対処—その光と闇に迫る—（共同）	日本心理学会第71回大会（東洋大学）	07. 09
F2	他者の不幸を喜ぶ男, 不運を哀れむ女—シャーデンフロイデと同情の喚起プロセスに性差はあるか?—（共同）	日本社会心理学会第48回大会（早稲田大学）	07. 09
F3	対人関係のダークサイド—ネガティブ心理学への招待—（共同）	日本社会心理学会第48回大会（早稲田大学）	07. 09
G1	中部大学人文学部心理学科心理コロキウム「他人の不幸はなぜうれしいのか?」講師	中部大学	07. 11
G2	平成19年度第3回不登校対応関係機関連絡会事例検討「研究協議」講師	宇都宮市教育センター	07. 12
G3	日本発達心理学会第19回大会企画委員会主催講習会「こうすれば心理学の授業はおもしろくなる—あなたのFDのために—」講師	日本発達心理学会第19回大会（追手門学院大学）	08. 03
I1	小中学生の問題行動改善に向けた妬み感情マネジメント・プログラムの開発（代表）	平成17-19年度科学研究費補助金, 若手研究(B)	07. 04
I2	いじめの予防・改善に向けたシャーデンフロイデの喚起メカニズムの解明（代表）	平成19年度学内若手教員研究助成	07. 05

#### 特別支援教育講座

##### 池本 喜代正

D1	附属学校園における特別支援教育体制の構築と運営	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 197-205	07. 07
D2	台湾における障害児の個別化教育計画に関する一考察（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 207-216	07. 07

F1	関係機関と連携した小中学校の特別支援教育の在り方―特別支援学校のセンター的機能に対するニーズを中心に―（共著）	日本特殊教育学会第45回大会発表論文集，389	07. 09
F2	台湾における後期中等教育段階の特別支援教育（2）―高等職業学校の教師の意識を中心に―（共著）	日本特殊教育学会第45回大会発表論文集，712	07. 09
F3	ろう重複障害児者の生活実態に関する一考察（その1）―就学前及び学齢期の子どもに関する課題を中心に―（共著）	日本特殊教育学会第45回大会発表論文集，725	07. 09
F4	ろう重複障害児者の生活実態に関する一考察（その2）―成年期のろう重複障害者に関する生活支援を中心に―（共著）	日本特殊教育学会第45回大会発表論文集，726	07. 09
G1	宇都宮市特別支援教育コーディネーター研修会，特別支援教育とコーディネーターの必要性，講師	宇都宮市教育センター	07. 05
G2	全国知的障害児者生活サポート協会研修会，知的障害者の地域生活における諸問題と支援のあり方，講師	那須塩原，ホテルニュー塩原	07. 06
G3	関東甲信越地区病弱児養護学校教頭会，病弱養護学校の現状と課題，講師	ホテルニューイタヤ	07. 06
G4	栃木県教職員協議会夏季研修会，助言者	鬼怒川ホテル，ニュー岡部	07. 08
G5	栃木県特別支援教育連絡協議会，特別支援教育で学校が変わる，講師	宇都宮市教育センター	07. 08
G6	練馬区立谷原中学校校内研修会，特別支援教育で学校が変わる，講師	練馬区立谷原中学校	07. 08
G7	第41回手をつなぐ育成会関東甲信越大会「特別支援教育の新たな展開をめざして」，講師	みなかみ町，ホテル聚楽	07. 09
G8	日光市立鬼怒川小学校研修会，校内における特別支援教育の推進，講師	日光市立鬼怒川小学校	07. 10
G9	朝霞市人権教育，家庭教育学級，障がい児の一人一人の成長をめざした特別支援教育の意義について，講師	朝霞市産業文化センター	08. 02
G10	日光市立日光中学校校内研修会，特別支援教育を推進するために，講師	日光市立日光中学校	08. 02
G11	日光市立今市中学校校内研修会，特別支援教育における諸問題，講師	日光市立今市中学校	08. 03
梅永 雄二			
A1	特別支援教育の理論と実践（編著）	金剛出版	07. 04
A2	こんなサポートがあれば！2（編著）	エンパワメント研究所	07. 05
A3	障害児者の教育と生涯発達支援（編著）	北樹出版	07. 06
A4	自閉症の自立をめざして～ノースカロライナのTEACCHプログラムに学ぶ（単著）	北樹出版	07. 09
A5	LD，ADHD，アスペルガー症候群の進路とサポート（単著）	明治図書	08. 02
F1	発達障害者の自立（日本小児神経学会）	自治医科大学	07. 10
F2	発達障害者の就労支援（共著，日本LD学会）	横浜100年会館	07. 11
G1	自閉症の人の自立をめざして（栃木県自閉症協会）	栃木健康の森	07. 09
G2	発達障害者の就労支援（はるにれの里20周年記念講演）	北海道自治労会館	07. 10
G3	発達障害児の進路指導（コーディネーター養成研修）	北九州特別支援教育センター	07. 10
G4	NHKフォーラム	千葉市総合文化会館	07. 11
G5	自閉症の人の自立をめざして	青森発達障害者支援センター	07. 12
G6	NHKテレビ出演（ハートをつなごう）	NHK渋谷本局	07. 12
G7	特別支援教育士養成セミナー	大阪天満研修センター	07. 12
G8	台湾自閉症トレーニングセミナー	台北，高雄	08. 01
G9	自閉症の人の自立をめざして（群馬自閉症協会）	群馬総合福祉センター	08. 01
G10	自閉症の人の自立をめざして（福島自閉症協会）	福島総合福祉センター	08. 02
G11	ジョブコーチネットワーク会議	大妻女子大学	08. 03
G12	TEACCHプログラム研究大会公開講演（基調講演）	川崎医療福祉大学	08. 03

## 佐久間 宏

D1	通常の学級における特別な配慮を要する子どもたちへの支援—集団指導の中でできる指導法の工夫に着目して— (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 183-196	07. 07
D2	養護教諭と連携した知的障害児に対する歯みがき指導に関する研究—個別の指導計画の作成・実施・評価— (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 175-181	07. 07
D3	知的障害児の進路指導をめぐる課題 (Ⅲ) —現場実習の意義と役割の分析— (共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 21-53	08. 03
G1	知的障害を伴う子どもたちの自立のために	日光手をつなぐ親の会	07. 05
G2	人の生きがいとは何だろう	栃木学習センター	07. 08

## 岡澤 慎一

A1	第5章 運動障害. 梅永雄二・島田博祐 (編) 障害児者の教育と生涯発達支援 (共著)	pp. 72-83, 北樹出版	07. 06
B1	しきりにおんぶを求めたジュンコさんとの係わり合いの省察 (単著)	障害児教育学研究, 11 (2), pp. 31-43	08. 03
E1	超重症児2事例に見られた「不随意的」微弱微細運動の意義に関する検討 (共著)	超重症児における動きの発現とその生命活動上の意義に関する臨床的研究 (研究代表者: 川住隆一), 平成17-18年度科学研究費補助金, 基盤研究(C)研究成果報告書, pp. 39-46	07. 04
F1	コミュニケーションが初期的状態にある人の行動形成における係わり手との関係性のあり方に関する「散逸的秩序」モデル (単著)	日本特殊教育学会第45回大会発表論文集, 811	07. 09
F2	超重症児における微弱微小運動の発現に関する検討—「不随意的」運動の発現頻度の変化と心拍数変化に着目して— (共著)	日本特殊教育学会第45回大会発表論文集, 814	07. 09
G1	栃木県立足利養護学校校内学級校内研究会「身体の動きが極めて微弱微細な子どもへの教育的対応」講師	栃木県立足利養護学校	07. 06
G2	足利病院院内学習会「重い障害がある人との係わり合いの視点」講師	足利病院	07. 07
G3	平成19年度宇都宮大学教職員サマーセミナー「重い障害がある人への教育的対応の視点と実際」講師	宇都宮大学	07. 07
G4	平成19年度福島県養護教育センター 授業力アップ講座B「自立活動を主とした指導講座」講師	福島県養護教育センター	07. 09
G5	栃木県立足利養護学校校内研修会「重い障害がある人との係わり合いの糸口」講師	栃木県立足利養護学校	07. 11
I1	身体の動きが極めて微細な超重症児の環境との相互交渉の発生・拡大に関する臨床的研究 (代表)	平成18-19年度科学研究費補助金, 若手研究 (スタートアップ)	07. 04
I2	身体の動きが極めて微弱微細な重度・重複障害児における生理的指標による状態変化の把握と教育的対応との相互連関に関する臨床的研究 (代表)	平成19年度学内若手教員研究助成	07. 04

## カリキュラム開発学講座

## 加藤 謙一

D1	中学生における疾走能力を高めるための運動プログラムの練習効果 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 369-378	07. 07
D2	基本の運動 (水遊び) における学習環境の現状と課題—M市小学校の調査結果をもとに— (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 379-388	07. 07
D3	指導力を高める「陸上競技」の授業～運動を観る目を養う学習～ (単著)	女子体育, 49-10, pp. 38-43	07. 10
D4	幼少年期における基礎的動きの完成度 (単著)	臨床スポーツ医学, 24-11, pp. 1169-1174	07. 11
E1	基礎的動きに関する評価観点および学習用DVDの妥当性・有用性 (単著)	平成19年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告Ⅱ, pp. 20-23	08. 03

G1	続・幼少期に習得させたい基本運動とその評価	宇都宮市小学校教育研究会体育部会研修会	07. 08
G2	基礎的動きの種類とその評価観点	那須烏山市学習指導研修会	07. 10
G3	からだの発達と運動能力	宇都宮市西生涯学習センター講座	07. 10
G4	1-2歳児の保育～就学前の運動発達の観点から～	第2回乳幼児発達支援研究大会	08. 02
H1	おはスタOHAミッション！「タイムの上がる走り方を調査セヨ！」	テレビ東京9月20日放映	07. 09

### 藤井 佐知子

E1	自治体の学校評価システム構築に関わる諸問題－第三者評価制度の導入事例を手がかりに－（単著）	平成19-22年度科学研究費補助金、基盤研究（B）中間報告書(1) 学校評価システムの展開に関する実証的研究, pp. 54-72	08. 03
G1	新任教頭研修講師「学校経営と教頭の役割」	栃木県教育委員会	07. 06
G2	新任教頭研修講師「学校組織マネジメントの必要性と基本的な考え方」	宇都宮市教育委員会	07. 06
G3	新任校長研修講座講師「組織マネジメントの進め方」	茨城県教育委員会	07. 06
G4	小・中学校10年経験者研修講師「学校組織マネジメント研修」	さいたま市立教育委員会	07. 07
G5	新任学年主任等研修会講師「学校組織マネジメント研修」	さいたま市立教育委員会	07. 07
G6	河内地区教育課程研究会講師「カリキュラム・マネジメントを生かした学校評価の充実について」	栃木県教育委員会事務局河内教育事務所	07. 08
G7	学校経営研修講座講師「学校組織マネジメントと教育課程」	八戸市教育委員会	07. 08
G8	20年経験者研修講師「学校組織マネジメント」	川越市教育委員会	07. 09
G9	下都賀地区公立小中学校事務職員研修会講師「組織マネジメントを学校経営・事務部経営にどう活かすか」	下都賀地区公立小中学校事務職員研究協議会	08. 02
G10	小・中学校10年経験者研修講師「学校組織マネジメント」	川越市教育委員会	08. 02
I1	フランスにおける視学制度の機能変容と視学官・校長の職能向上策に関する研究(代表)	平成18-20年度科学研究費補助金、基盤研究（C）	07. 04
I2	学校評価システムの展開に関する実証的研究(分担)	平成19-22年度科学研究費補助金、基盤研究（B）	07. 04
I3	大学ユニバーサル時代における中等教育の再定義－積み上げシステムの転換－(分担)	平成18-20年度科学研究費補助金、基盤研究（B）	07. 04
I4	フランスの社会的排除及び包摂のメカニズムと学校教育の再構築に関する総合的研究(分担)	平成19-21年度科学研究費補助金、基盤研究（B）	07. 04

### 松本 敏

G1	教員の指導力向上と学校の活性化	初任研拠点校指導教員研修会（仙台市教育センター）	07. 05
G2	「学ぶ力」をはぐくむための校内研修・体制の在り方	下都賀地区教務主任研修会（大平町中央公民館）	07. 06
G3	小中高を通した総合的な学習の時間のあり方	総合的な学習の時間コーディネーター養成講座	07. 07
G4	組織の力と学校教育の活性化	第4回教育のアクションリサーチ研究会「学校の協働研究と組織化」分科会（熱海大野屋）	07. 08
G5	これからの社会科で身につけさせたい学力～授業とテストのあり方を考える	下都賀地区中学校教育研究会社会部会研修会（栃木市国府地区公民館）	07. 10
G6	子どもに育てたい確かな学力とは	学力向上拠点形成事業推進校公開研究発表会（真岡市立真岡小学校）	07. 11
G7	小・中の連携を図った総合的な学習の時間の在り方	宇都宮市教育センター	07. 11

## 人見 久城

A1	理科の先生のための新しい評価方法入門（共訳）	pp. 221-260を翻訳，全282ページ，北大路書房	07. 04
D1	高等学校理科における探究活動の実践に関する研究（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要，第30号，pp. 519-528	07. 07
F1	イングランドの中等学校段階における理科のパフォーマンス評価（単著）	日本科学教育学会第31回年会（北海道大），年会論文集，pp. 239-240	07. 08
F2	授業ビデオを活用した優れた小中学校理科指導の分析と教師教育用教材の開発（共著）	日本理科教育学会第57回年会（愛知教育大），発表論文集，p. 336	07. 08
I1	科学的素養と探究活動に重点をおいた新しい高校理科教育教材の開発と指導法の検討（代表）	平成18-20年度科学研究費補助金，基盤研究（C）	07. 04

## 丸山 剛史

A1	子どもの遊びと手の労働研究会編『子どもの「手」を育てる』	pp. 180-182，ミネルヴァ書房	07. 05
A2	学校法人芝浦工業大学編「芝浦工業大学創立80周年1927-2007 温故知新」（共著）	pp. 16-27，学校法人芝浦工業大学発行	07. 10
A3	芝浦工業大学総合企画部広報課編「芝浦工業大学保存歴史資料目録」（共著）	128ページ，芝浦工業大学総合企画部広報課発行	08. 03
A4	平成19年度宇都宮大学特定重点推進研究グループ・宇都宮大学国際学部田巻研究室編「栃木県における外国人児童生徒教育の明日を考える」	pp. 61-69，平成19年度宇都宮大学特定重点推進研究グループ・宇都宮大学国際学部田巻研究室発行	08. 03
D1	戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌（2）—中等学校教科書株式会社の「中等教育」・「新しい教室」誌—（共著）	工学院大学共通課程研究論叢，第45巻第1号，pp. 99-110	07. 10
D2	戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌（3）—実業教科書株式会社の「商業教育資料」誌—（共著）	工学院大学共通課程研究論叢，第45巻第2号，pp. 105-112	08. 02
E1	高校工業教育における実験・実習の内容とその教育効果に関する実証的研究（共著）	127ページ，平成17-19年度科学研究費補助金，基盤研究（C）研究成果報告書（研究代表者：長谷川雅康）	08. 03
I1	戦後日本における普通教育としての技術教育の教育課程に関する歴史的研究（代表）	平成17-19年度科学研究費補助金，若手研究（B）	07. 04
J1	改定学校教育法における幼稚園に関する規定の検討	技術と教育，第407号，pp. 3-4	07. 11

## 国語教育講座

## 香西 秀信

A1	反論の技術・実践資料編（編著）	127ページ，明治図書出版	08. 02
E1	国語教員養成及び現職教員再教育における論理的思考力速成のためのカリキュラム開発（専門図書として出版された著書二冊）	1・170ページ，2・127ページ，平成17-18年度科学研究費補助金，基盤研究（C）研究成果報告書（研究代表者：香西秀信）	08. 03
F1	「力→量」還元による思考の転用（課題研究「議論の力をどう育てるか」）	第112回全国大学国語教育学会宇都宮大会（宇都宮大学）	07. 05
G1	全国高等学校国語教育研究連合会第40回研究会栃木大会・第1分科会助言講師	栃木県立宇都宮高等学校	07. 11
I1	国語教員養成及び現職教員再教育における論理的思考力速成のためのカリキュラム開発（代表）	平成17-18年度科学研究費補助金，基盤研究（C）	07. 04
J1	討論は，教室全体ではできない	授業研究21，No. 610，p. 8，明治図書出版	07. 08
J2	右翼的に生きる	学校マネジメント No. 608，p. 7，明治図書出版	07. 09
J3	PISA型が日本型よりも優れていることの根拠は？	教育科学国語教育，No. 686，pp. 11-13，明治図書出版	07. 09
J4	言葉を豊かにすることのパラドックス	社会科教育，No. 584，pp. 34-36，明治図書出版	08. 01

## 鈴木 啓子

- |    |   |                                   |        |
|----|---|-----------------------------------|--------|
| A1 | 飛高隆夫・野山嘉正編『展望現代の詩歌 第9巻 俳句 I』「三橋鷹女」の章を分担執筆（分担箇所は単著）          | pp. 1-21, 明治書院                    | 07. 04 |
| D1 | おごそかな女々しさー「雛」「犬と笛」などー（単著）                                   | pp. 4-8, 芥川龍之介全集第10巻「月報10」（岩波書店）  | 07. 10 |
| I1 | 泉鏡花文学の成立と受容を「対時代性」「伝統性」の観点から検証する研究（代表単独）                    | 平成19-21年度科学研究費補助金, 基盤研究（C）        | 07. 04 |
| J1 | 対談・言葉の変化とは？（共著）   | pp. 84-93, 栃木県立宇都宮女子図書委員会刊行「書苑66」 | 08. 02 |
| J2 | Close Up 研究室「一冊の書, 一人の作家との出会いが人間としての厚みと奥深さ, そして潤いをもたらす」（単独） | 北関東キャンパスナビホームページ                  | 08. 03 |

## 中島 宗皓（望）

- |    |                              |  |                       |
|----|------------------------------|--|-----------------------|
| A1 | 「日本を創る」（単著）                  | 和文90ページ, 英文30ページ 藝祥  | 07. 09                |
| A2 | 「九つの音色 つたえあい」（共著）            | pp. 30-33, 70-71, 81-87, 96 - 97, 里文出版                                 | 07. 10                |
| G1 | 「日本の藝術教育」韓国講演（共同）            | ソウル大学校美術大学, 嶺南大学校美術大学, 大邱大学校美術大学, 大邱カトリック大学校美術大学, 慶一大学校美術大学, 中央大学校美術大学 | 07. 04                |
| G2 | 「日本の藝術教育」中国講演（共同）            | 中国清華大学美術学院, 北京服飾美術学院   | 07. 05                |
| H1 | 「第4回 九つの音色展」（共同）             | 東京日本橋三越美術特選画廊, アートスクエア   | 07. 10                |
| H2 | 「文・書・装・宗皓」（単独）               | 東京銀座ギャラリー田中  | 07. 11                |
| I1 | 中国・韓国・日本「藝術文化3国共同会議」（代表）     | 全日本社会貢献団体機構（遠山敦子代表）  | 07. 04                |
| I2 | 書道用具「再美日本シリーズ」共同研究開発（単独）     | 株式会社墨運堂  | 07. 07                |
| J1 | 作品とエッセイ「干支遊び」（単独）            | 「月刊美術」誌（2008. 1）pp. 168-169  | 07. 12                |
| J2 | 広告デザイン等「花帆紋」, 「染織情報α」, 他（単独） | 「日本橋三越美術部百年催事」その他  | 07. 04<br>~<br>08. 03 |

## 森田 香緒里

- |    |   |   |                       |
|----|---|---|-----------------------|
| A1 | 桑原隆編「新しい時代のリテラシー教育」（共著）   | pp. 426-440, 東洋館出版                                      | 08. 03                |
| A2 | 平成19年度宇都宮大学特定重点推進研究グループ・宇都宮大学国際学部田巻松雄研究室「栃木県における外国人児童生徒教育の明日を考える」 | pp. 143-151, 平成19年度宇都宮大学特定重点推進研究グループ・宇都宮大学国際学部田巻松雄研究室発行 | 08. 03                |
| F1 | イギリス・ロンドンにおける国語力向上のための取り組み（単独）                                    | 宇都宮大学附属小学校  | 08. 02                |
| G1 | イギリスの国語教育（単独）   | 独立行政法人教員研修センター  | 07. 08                |
| G2 | 「読むこと」の指導において, 今求められていること（単独）                                     | 今市中央公民館   | 07. 08                |
| G3 | 全国高等学校国語教育研究連合会第40回研究大会「栃木大会」第2分科会助言講師                            | 栃木県立宇都宮北高等学校  | 07. 11                |
| G4 | スクールサポートセンター・学校支援分野・平成19年度連携研修事業, 宇都宮市教育センター「校内研修サポート事業」指導講師      | 宇都宮市立峰小学校   | 07. 04<br>~<br>08. 03 |

## 守安 敏久

- |    |   |                    |        |
|----|---|--------------------|--------|
| A1 | 飛高隆夫・野山嘉正編「展望 現代の詩歌」第9巻〈俳句 I〉（共著, 「平畑静塔」担当執筆）             | pp. 227-242, 明治書院  | 07. 04 |
| A2 | 国際寺山修司学会編「寺山修司研究」創刊号（共著, 「寺山修司 ラジオドラマ『山姥』から戯曲『青ひげ』へ」担当執筆） | pp. 78-89, 文化書房博文社 | 07. 05 |

D1	秋元松代「かさぶた式部考」—テレビドラマから戯曲へ— (単著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 17-30	08. 03
G1	平成19年度宇都宮大学教育学部附属小学校初等教育公開研究発表会 国語科指導助言者 (共同) 〈次代を担う子供たちへ〉「ことばを豊かに表現し, 自ら学ぶ国語教室」	宇都宮大学教育学部附属小学校	07. 06
G2	全国高等学校国語教育研究連合会第40回研究大会栃木大会「ことばと生きる一心を豊かに 思いを確かに」第8分科会助言講師	文星芸術大学附属高等学校	07. 11
J1	学術文献刊行会編「国文学年次別論文集 近代4・平成17 (2005) 年」 (「寺山修司の演劇『百年の孤独』—置き換えの遊戯—」再録)	pp. 476-481, 朋文出版	08. 03

#### 田和 真紀子

I1	日本語副詞における意味・機能の史的変遷の記述的研究	平成19年度科学研究費補助金, 若手研究 (スタートアップ)	07. 04
I2	国語科教育における古典作品の語彙・文法の基礎的研究	平成19年度学内若手教員研究助成	07. 04
J1	対談・言葉の変化とは? (共著)	pp. 84-93, 栃木県立宇都宮女子図書委員会刊行「書苑66」	08. 02

#### 社会科教育講座

##### 下田 淳

A1	ヨーロッパ近代を読み解く (共著)	pp. 173-209, ミネルヴァ書房	08. 03
B1	19世紀ドイツ・バイエルンの祝祭日規制政策と民衆信仰	歴史評論690, pp. 28-40	08. 07
D1	18世紀ドイツある粉挽き屋の人間関係と村共同体	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 71-98	08. 03

##### 溜池 善裕

D1	授業における板書と子どもの枠組	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 421-431	07. 07
D2	学校に教育を取り戻すために—「初志の会の役割」にかえて	考える子ども, no. 309, pp. 8-12	07. 07
G1	東京都中央区立日本橋小学校校内研究会		07. 04 ~ 07. 12

##### 塚本 純

D1	内生的経済成長の類型と政策の効果—家計の選択へ影響を及ぼす政策を分析するにあたって— (単著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 99-116	08. 03
----	---	------------------------------------	--------

##### 小原 一馬

A1	社会学教育と社会科教育—脱常識の社会学からの脱却	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 117-136	08. 03
D1	栃木県における外国人児童生徒教育の明日を考える (共著)	宇都宮大学特定重点推進研究グループ編・発行, pp. 119-129	08. 03
F1	かわいい文化とは何だったのか—「かわいいおばあちゃん」現象に見る, 言語・価値観・人間関係の共進化	第80回日本社会学会大会 (関東学院大学)	07. 11

##### 牧原 成征

A1	身分的周縁と近世社会3商いがむすぶ人々 (共著)	pp. 13-41, 吉川弘文館, 原直史編	07. 06
F1	北関東の長吏小頭と職場・由緒 (単独)	第45回部落問題研究者全国集会・分科会歴史 I	07. 10

I1	近世前期・東国における土地制度と村落の地域比較的研究 (代表)	平成18-20年度科学研究費補助金, 若手研究 (B)	07. 04
I2	近世前期・東国における土地制度と村落の研究 (代表)	平成19年度学内若手教員研究助成	07. 04
山田 有希子			
D1	排中律とは何であるか—ヘーゲルを手がかりに— (単著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 137-148	08. 03
E1	健常者にとっての障害者と障害者にとっての健常者 (単著)	人間学的特殊教教育学の哲学のおよび倫理学的基礎付けの試み (研究代表者 山田全紀) 科研費基盤研究 (C) 研究成果報告書 第II章, pp. 73-92	07. 04
E2	書評 W. ヴェルシュ・K. フィーヴェーク編著「思考の関心—今日的視点から見たヘーゲル」 (単著)	ヘーゲル哲学研究 13号, 日本ヘーゲル学会, pp. 210-212	07. 12
G1	「排中律研究会」発表 ヘーゲルにおける排中律の概念 (単独)	哲学研究会, 学士会館	07. 09
G2	デカルト「省察」についての一考察 (単独)	哲学研究会, 学士会館	08. 02
I1	ヘーゲル及びドイツ観念論における生命論研究—生命倫理問題の哲学的基礎付けに向けて (代表)	平成19年度科研費補助金, 若手研究 (B)	07. 04
I2	ヘーゲル及びドイツ観念論哲学における生命論研究 その2 (代表)	平成19年度学内若手教員研究助成	07. 04

## 数学教育講座

北川 義久

F1	3次元球面内の平坦トーラスの直径予想と閉曲線対の2重接触問題	研究集会「接触幾何, 特異点論およびその周辺」, 金沢大学サテライト・プラザ	08. 01
G1	$S^3$ 内の平坦トーラスの幾何学と四元数	集中セミナー「四元数と部分多様体の幾何学」, 筑波大学	07. 11

木村 寛

D1	多角形の角における発展的・統合的な見方・考え方の指導 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 443-452	07. 07
D2	算数・数学科の基礎・基本を保証する授業—授業改善に向けた授業映像と指導案等— (共著)	栃木県教育研究所紀要第138集, pp. 1-65	08. 03
G1	算数・数学科主任の在り方—TTによる指導の方法	大田原市算数・数学科主任研修会 (湯津上庁舎)	07. 07
G2	学力向上に向けての家族の支援	西原・富士見小・一条中保護者会 (西原小)	07. 07
G3	個に応じる豊かな授業	下都賀郡算数部会 (大平町中央公民館)	07. 07
G4	子どもに提供する教材を教師も体験	那須町教委教員研修会 (那須・大島小)	07. 09
G5	授業改善の提案	日光市算数・数学会 (日光・所野小)	07. 12
G6	授業改善の提案	那須郡算数・数学会 (大田原・親園中)	07. 12
G7	学力向上シンポジウム (栃木県学習指導改善委員会)	栃木県教育会館	08. 01
G8	栃木県教育研究発表会 (栃木県総合教育センター)	高校部会担当 (栃木県総合教育センター)	08. 01
G9	学習指導改善文科省研究指定校発表会 (中学校数学)	砂防会館	08. 02

酒井 一博

B1	$C^1$ -stably shadowable chain components for generic diffeomorphisms (単著)	Far East J. Dynam. Sys. 9, pp. 345-350	07. 10
----	--	--	--------



F1	Recent development of shadowing theory of differentiable dynamical systems (単独)	2007 CNU Workshop on Nonlinear Analysys and its Applicaiton (Daejeon, Korea)	07. 08
I1	擬軌道尾行性による鎖成分の特徴付けに関する研究 (代表)	平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)	07. 04
井ノ口 順一			
A1	幾何学いろいろ(単著)	209ページ, 日本評論社	07. 11
B1	Minimal surfaces in the 3-dimensional Heisenberg group	Differ. Geom. Dynat. Syst. 10, pp.163-169	08. 01
B2	A Weierstrass representation for minimal surfaces in Sol (共著)	Proc. Amer. Math. Soc. 136, pp.2209-2216	08. 02
B3	Parallel surfaces in the motion groups $E(2)$ and $E(1,1)$ (共著)	Bull Belg. Math. Soc. Simon Stevin 14, pp.317-320	07. 06
B4	A complete classification of parallel surfaces in three-dimensional homogeneous spaces (共著)	Geom. Dedicata 131, pp.159-172	07. 12
B5	Pseudo-symmetric contact 3-manifolds II. When is the tangent sphere bundle over a surface pseudo-symmetric ? (共著)	Note Mat. 27, pp.119-129	07. 06
B6	Biharmonic curves in 3-dimensional Sasakian space forms (共著)	Annali di Mat. Pura Appl. 186, pp.685-701	07. 10
D1	Affine spheres of finite type (単著)	DMHF2007: COE Conference on the Development of Dynamic Mathematics with High Functionality (九州大学COE), pp.89-92	07. 11
D2	多角形の角における発展的・統合的な見方・考え方の指導 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp.443-452	07. 07
D3	戸田格子と微分幾何	九州大学応用力学研究所 研究集会報告19 ME-S2 (2008)	08. 03
F1	On the differential geometry of Toda field equation of type $A_2^2$ (単独)	Workshop on the Iso level sets of the integrable systems 2007 (慶應義塾大学COE)	07. 06
F2	Biharmonic maps and bi-Yang Mills fields (共同)	日本数学会秋季総合分科会幾何学分科会	07. 09
F3	Affine spheres of finite type (単独)	DMHF2007: COE Conference on the Development of Dynamic Mathematics with High Functionality (九州大学COE)	07. 11
F4	戸田格子の微分幾何 (単独)	「非線形波動研究の歩みと展望」(九州大学応用力学研究所)	07. 11
F5	Minimal surfaces in 3-dimensional solvable Lie groups (単独)	Variational Problems, Geometry and Global Analysis, (東北大学大学院情報科学研究科)	07. 11
F6	Minimal surfaces in 3-dimensional homogeneous contact manifolds (単独)	International Workshop on Differential Geometry, Gwangju, 2007 (韓国・全南大学)	07. 12
I1	共形幾何学とループ群論による平均曲率一定曲面の構成の研究 (代表)	平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)	07. 04
J1	数セミ・ブックガイドABC 接続の微分幾何とゲージ理論 (単著)	数学セミナー 46, p.12	07. 08
J2	戸田格子と幾何 (単著)	数学セミナー 47, pp.21-25	08. 03
日野 圭子			
B1	Toward the problem-centered classroom: Trends in mathematical problem solving in Japan	ZDM Mathematics Education, 39, pp.503-514	07. 07

B2	Studying lesson structure from the perspective of meaning construction: The case of two Japanese mathematics classrooms	Proceedings of the 29th International Conference of Psychology of Mathematics Education Conference (vol.3), pp. 25-32	07. 07
D1	豊かな「表現力」を育てる3つの鉄則, 総論1: 子どもが創り出すものを大切に	楽しい算数の授業, 277, pp. 4-6	07. 09
D2	海外の算数教育情報: 「代数化された」算術の場面で, 子どもはどんな表記を創り出しているか?	新しい算数研究, 441, pp. 32-33	07. 10
D3	PISA2006の結果をどう捉えるか: ”数学的リテラシー”に関する対応と課題	教職研修, 427, pp. 120-123	08. 03
F1	中学校数学科における今日の課題 (基調講演)	平成19年度栃木県中学校数学教育研究大会	07. 11
H1	比例的推論の進展を促す数学的表記の探究による授業の開発と評価 (代表)	平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究(C)	07. 04
H2	PISA型学力としてのコンピテンシー育成を目的とした統合カリキュラムの理論的研究 (分担)	平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究(B)	07. 04
H3	学習者の観点からみた算数・数学科授業に関する比較文化的研究 (分担)	平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究(B)	07. 04

### 保坂 哲也

D1	CAT(0) groups whose boundaries are scrambled sets (単著)	数理解析研究所講究録, 1578, pp. 52-56	08. 02
F1	CAT(0) groups whose boundaries are scrambled sets (単独)	一般および幾何学的トポロジーの現状と諸問題 (数理解析研究所研究集会)	07. 10
F2	Minimality and scrambled sets of boundaries of CAT(0) groups (単独)	International Conference on Topology and its Applications 2007 at Kyoto	07. 12
F3	On the boundary of a CAT(0) space on which a group acts geometrically (単独)	リーマン面不連続群論研究集会 (Conference on Riemann surfaces and discrete groups) (岡山大学)	08. 01
F4	Minimality and scrambled sets of boundaries of CAT(0) groups (単独)	リーマン幾何と幾何解析 (筑波大学)	08. 02
I1	コクセター群と非正曲率空間の研究 (代表)	平成19年度科学研究費補助金, 若手研究(B)	07. 04

### 理科教育講座

#### 伊東 明彦

D1	大学生の天文分野に関する知識の変化—1976年と2006年の調査結果の比較	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要 第30号, pp. 473-482	07. 07
D2	中学生の力に関する理解度調査	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要 第30号, pp. 483-490	07. 07
D3	中学校理科教育実習の事前指導とその効果 (1)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要 第30号, pp. 509-517	07. 07
F1	力の理解をめざした中学校理科指導の改善について	日本理科教育学会全国大会発表論文集 5, p. 2G-05 (愛知教育大学)	07. 08
F2	電圧概念の形成を促すための授業実践—中学校1分野「電流とそのはたらき」における取り組み	日本理科教育学会全国大会発表論文集 5, p. 1J-06 (愛知教育大学)	07. 08
E1	栃木県の自然災害と防災	平成19年度宇都宮大学公募型重点推進研究成果報告書	08. 02
E2	あなたと共に探求する理科の世界	平成19年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業実施報告書	08. 01
I1	生徒の実態に基づいた中学校理科「力と運動」の指導法の改善に関する研究	平成19-20年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)	07. 04
I2	科学的素養と探究活動に重点をおいた新しい高校理科教育教材の開発と指導法の検討	平成18-20年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)	07. 04

I3	北アナトリア断層西部地震空白域における比抵抗不均質構造と断層活動に関する研究	平成19-21年度科学研究費補助金，基盤研究（A）	07. 04
I4	栃木県における地域連携による次世代型防災体制の構築と防災教育の普及	平成19年度宇都宮大学公募型重点推進研究	07. 04
上田 高嘉			
A1	Fish cytogenetics（共著）	502ページ，Science Publishers	07. 04
B1	Establishment of an albino strain of the bitterling <i>Tanakia signifer</i> (Pisces, Cyprinidae)（共著）	J. Hered.	07. 04
D1	教材的活用を目的とした宇都宮市横山町における水生生物の生息状況調査（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要，第30号，pp. 501-508	07. 07
E1	宇都宮大学重点推進研究報告「遺伝子組換え技術による地域産業基盤貢献」（共著）	12ページ，宇都宮大学遺伝子実験施設発行	07. 04
E2	近畿大学原子炉等利用共同研究経過報告書 平成18年度（共著）	130ページ，大阪大学大学院工学研究科	07. 09
F1	北イタリア産ヨーロッパタナゴ（ <i>Rhodeus seriseus amarus</i> ）の幾つかの染色法による細胞遺伝学的特徴と NORs 多型（共著）	2007年度日本魚類学会年会	07. 10
F2	Phylogenetic relationships of the bitterling fishes（共著）	2007年度日本魚類学会シンポジウム	07. 10
I1	タナゴ亜科魚類の生物地理学的研究一人と自然の共存を目指したヨーロッパにおけるタナゴ亜科魚類の調査研究（代表）	平成19年度大学の国際化推進プログラム（海外先進研究実践支援）	07. 04
佐藤 禎宏			
B1	Measurement of associated charm production in neutral- and charged-current neutrino interactions（共著）	Eur. Phys. J. C 52, pp. 543-552	07. 11
鈴木 勲			
D1	「理科」におけるe-ラーニングと今後の課題（共著）	宇都宮大学附属教育実践総合センター紀要，第30号，pp. 1-10	07. 07
D2	高大連携科学実験講座に関するアンケート調査について（共著）	宇都宮大学教育学部紀要，第58号，第2部，pp. 7-14	08. 03
中村 洋一			
D1	Volcanic Hazard Maps of Japan with additional edition DVD3: Volcanic Hazard Maps of Japan DVD1 & DVD2（共著）	Reference material to the Technical Note of the National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, Japan, 292, pp. 1-8	07. 10
F1	An Assessments of Japanese Mitigation Systems on Volcanic Disasters by Reviewing Hazard Maps, Mitigation Plans, and Risk Analyses（共著）	Cities On Volcanoes 5, Abstract volume, 137	07. 11
F2	Hyperbase of Volcanic Hazard Maps in Japan（共著）	Cities On Volcanoes 5, Abstract volume, 141	07. 11
F3	Rhyolitic Magmatism of the Takahara Volcano, Japan, Inferred From Various Petrographic Features of the Obsidian（共著）	Cities On Volcanoes 5, Abstract volume, 45	07. 11
I1	火山防災基礎データベースによる災害危険度評価と次世代型ハザードマップの検討（代表）	平成19年度科学研究費補助金・基盤研究（C）	07. 04
堀田 直巳			
B1	Underground water Cherenkov muon detector array with the Tibet air shower array for gamma-ray astronomy in the 100 TeV region	Astrophysics and Space Science, 309, pp. 435-439	07. 06

D1	The cosmic ray all-particle spectrum in the wide energy range from $10^{14}$ eV to $10^{17}$ eV observed with the Tibet-III air shower array	Proc. Int. Cosmic Ray Conf. HE. 1. 2A	07. 07
松居 誠一郎			
E1	宇都宮市役所における環境ISOの推進 (共著)	宇都宮大学地域貢献支援事業 平成18年度研究プロジェクト報告書, pp. 37-40	07. 07
E2	「学校池に見られる特異な珪藻群落の生態と水質についての研究」 (共著・編集代表)	平成19年度講座型学習活動【講B-大1015】SPP講座型学習活動実施報告書, pp. 1-34	08. 02
E3	「水辺ビオトープの環境調査」 (共著・編集代表)	平成19年度講座型学習活動【講B-大1014】SPP講座型学習活動実施報告書, pp. 1-34	08. 02
E4	「身近な科学を体験しよう」 (共著・編集代表)	平成19年度講座型学習活動【講B-大3012】SPP講座型学習活動実施報告書, pp. 1-24	08. 02
E5	「物質や自然を楽しむための科学への招待」 (共著・編集代表)	平成19年度講座型学習活動【講B-大3009】SPP講座型学習活動実施報告書, pp. 1-55	08. 02
F1	地域の自然を生かした 学校ビオトープづくり活動の学習評価 (共同発表)	日本環境8教育学会第18回大会研究発表要旨集, p. 60 (鳥取環境大学)	07. 05
F2	学校ビオトープを通じて地域の自然を学ぶ活動の学習評価 (共同発表)	日本環境8教育学会第18回大会研究発表要旨集, p. 59 (鳥取環境大学)	07. 05
山田 洋一			
A1	新編 理科総合A 指導書 (共著)	東京書籍 (株) ISBN4-487-27542-7	07. 04
A2	理科総合A システムとしてみる自然 指導書 (共著)	東京書籍 (株) ISBN4-487-27541-0	07. 04
B1	2'-Epi-orobanchol and Solanacol, Two Unique Strigolactones, Germination Stimulants for Root Parasitic Weeds, Produced by Tobacco (共著)	Journal of Agricultural and Food Chemistry, 2007, vol. 55, pp. 8067-8072	07. 10
B2	Isolation and identification of aletrrol as (+)-orobanchyl acetate, a germination stimulant for root parasitic plants (共著)	Phytochemistry, 2008, Vol. 69, pp. 427-431	08. 01
B3	Sorgomol, germination stimulant for root parasitic plants, produced by Sorghum bicolor (共著)	Tetrahedron Letters, 2008, Vol. 49, pp. 2066-2068	08. 03
D1	高大連携科学実験講座に関するアンケート調査について (共著)	宇都宮大学教育学部紀要 第58号, 第2部, pp. 7-14	08. 03
H1	情報スタジオCC9 SPP事業 (國學院栃木高校) (共同出演)	栃木ケーブルテレビ, 2007. 12. 10	07. 12
I1	化学 化学工業 環境科学の基本的用語の選定 (共同研究)	受託研究費 (科学技術振興機構) 2005から継続	07. 04
I2	2007年度教育学部入学生理解度調査 (代表)	学長裁量 教育改革・改善支援経費	07. 06
I3	高大連携科学実験講座 (分担)	学長裁量 教育改革・改善支援経費	07. 06
I4	小中学校理科教育 (化学教育分野) (代表)	学長裁量 地域貢献支援経費 (教育関連)	07. 07
J1	化学よもやま話第6話 糖と甘味料 (単著)	TCIメール, 2007, 10 No. 136, pp. 14-15	07. 10
J2	化学よもやま話第7話 代用甘味料 (単著)	TCIメール, 2008, 1 No. 137, pp. 14-15	08. 01
J3	食品添加物は安全なの? 「はてな探検隊-宇都宮大発・のぞいてみよう化学の世界」 (単著)	下野新聞	07. 08

## 井口 智文

- |    |   |                                 |        |
|----|---|---------------------------------|--------|
| E1 | SPP事業 講座型学習活動プランB【講B大1017】<br>(代表)          | 教育連携科学実験講座「理系をめざすための科学の世界」実施報告書 | 08. 02 |
| I1 | 科学的素養と探究活動に重点をおいた新しい高校理科教育教材の開発と指導法の検討 (分担) | 平成18-20年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)     | 07. 04 |

## 南 伸昌

- |    |   |  |        |
|----|---|--|--------|
| D1 | 中学校理科教育実習の事前指導とその効果(1)<br>(共著)              | 宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 509-518 | 07. 07 |
| E1 | 「科学的思考」を体験しよう (共著・編集代表)                     | 平成19年度SPP事業実施報告書                         | 07. 08 |
| E2 | 水素とエネルギー (共著・編集代表)                          | 平成19年度SPP事業実施報告書                         | 07. 08 |
| E3 | 分子レベルで考えよう-「物の色」と「吸着剤」-<br>(共著・編集代表)        | 平成19年度SPP事業実施報告書                         | 07. 10 |
| E4 | 光-物理から生物・地学へ (共著・編集代表)                      | 平成19年度SPP事業実施報告書                         | 08. 01 |
| H1 | 情報スタジオCC9 SPP事業 (國學院栃木高校)<br>(共同出演)         | 栃木ケーブルテレビ, 2007. 12. 10                  | 07. 12 |
| I1 | 生徒の実態に基づいた中学校理科「力と運動」の指導法の改善に関する研究 (分担)     | 平成19-20年度科学研究補助金, 基盤研究 (C)               | 07. 04 |
| I2 | 科学的素養と探究活動に重点をおいた新しい高校理科教育教材の開発と指導法の検討 (分担) | 平成18-20年度科学研究補助金, 基盤研究 (C)               | 07. 04 |
| J1 | わき水はなぜおいしい「はてな探検隊-宇都宮大発・のぞいてみよう化学の世界」(単著)   | 下野新聞                                     | 07. 07 |

## 出口 明子

- |    |   |   |        |
|----|---|---|--------|
| B1 | 理科教育における情報テクノロジーを利用したリフレクション支援の研究動向 (共著)  | 科学教育研究, 第31巻, 第2号, pp. 71-85  | 07. 05 |
| B2 | 協同学習における対面的-積極的相互作用の活性化: テクノロジーを利用した思考の外化に着目して<br>(共著)  | 理科教育学研究, 第48巻, 第1号, pp. 35-49   | 07. 07 |
| B3 | 自然観察の道具としてのカメラ付き携帯電話の可能性 (共著)   | 理科教育学研究, 第48巻, 第2号, pp. 53-62   | 07. 11 |
| C1 | Thinking Process Based Reflection Promotes Conceptual Change: In the lesson of "Three States of Matter" Using Concept Mapping<br>Software for Reconstructing Learning Processes<br>(共著) | Proceedings of National Association for Research in Science Teaching 2007, Annual Meeting [CD-ROM], New Orleans, LA, USA, 2007    | 07. 04 |
| C2 | Digital Fortune Line System: Technology for Promoting Conceptual Change through Visualization and Sharing of Learners' Conceptual Ecologies (共著)  | Proceedings of World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia & Telecommunications 2007, Vancouver, Canada, pp. 3837-3842 | 07. 06 |
| C3 | Fostering Students' Participation in Face-to-Face Interactions and Deepening Their Understanding by Integrating Personal and Shared Spaces (共著)   | Proceedings of Computer Supported Collaborative Learning '07, [CD-ROM], New Brunswick, NJ, USA                                    | 07. 07 |
| C4 | A Next-Generation Audio-Guide System for Museums "SoundSpot": An Experimental Study, Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems (共著)                               | Apolloni, B., Howlett, J., Jain, C. (Eds.), Lecture Notes in Computer Science, Vol. 4694, pp. 753-760, Springer-Verlag            | 07. 09 |
| F1 | リフレクションを支援する理科授業のデザイン研究: 小学校第3学年「磁石」の評価 (共著)  | 日本理科教育学会第57回全国大会発表論文集, 第5号, p. 219 (愛知教育大学)   | 07. 08 |
| F2 | 概念整理能力の向上を目指したノートテイキング指導-テクノロジーで支援する協同学習と個人学習の比較- (共著)  | 日本科学教育学会年会論文集31, pp. 481-482 (北海道大学)  | 07. 08 |

## 音楽教育講座

石田 修一

H1	声楽研究会第45回ラールゴ会伴奏 日本歌曲, イタリアオペラアリア等	セシオン杉並	07. 09
H2	ソプラノリサイタル伴奏 松村伴子 イタリア歌曲 ミュージカルナンバー	桐生市市民文化会館小ホール	07. 11
H3	宇都宮大学の音楽家たち伴奏 ロシア歌曲 日本歌曲	栃木県総合文化センターサブホール	07. 12
H4	峰音会新春コンサート伴奏 石野健二バリトン シューベルト歌曲	サンシャインホテル	08. 01

石野 健二

H1	上智大学アマデウスコールジョイントコンサート (合唱指揮)	武蔵野市民文化会館	07. 06
H2	合唱団MORZ第3回定期演奏会 (合唱指揮)	横浜みなとみらい小ホール	07. 08
H3	MOMENTS MUSICAUX Vol.2 (バリトン独唱)	栃木県総合文化センターサブホール	07. 12
H4	上智大学アマデウスコール定期演奏会 (合唱指揮)	江戸川総合文化センター小ホール	07. 12

小林 功

H1	バリトンリサイタル伴奏 宝福英樹バリトン (ブラームス マゲローネのロマンス)	銀座 王子ホール	07. 10
H2	歌曲伴奏 飯田隆 歌曲への歷程 Sop. 蒲原史子 A. 井坂恵 (飯田隆作曲 蛙)	栃木県総合文化センター サブホール	07. 11
H3	MOMENTS MUSICAUX Vol.2 ピアノ独奏 (グリーグ叙情小曲集Op54より他)	栃木県総合文化センター サブホール	07. 12
H4	室内楽演奏会 ピアノ担当 (ベートーヴェン ピアノ三重奏「大公」, ヴァイオリンソナタNr. 10他)	美瑛 薫風舎	08. 03

木下 大輔

A1	デュリュフレ: レクイエムOp.9 (オルガン付), 尾高惇忠: オルガンとオーケストラのための幻想曲 (CDブックレット, 共著)	ナミ・レコード	07. 07
B1	音楽科教員のFD研修と大学の授業改善に関する実践的研究	日本教育大学協会研究年報 第26号	08. 03
H1	夏の旅—立原道造の詩による歌曲集 (単著)	Moments musicaux Vol.2—音楽による抒情 (栃木県総合文化センターサブホール)	07. 12
I1	中学校音楽科教員養成のためのカリキュラムモデル構築に関する研究 (分担)	平成19年度日本教育大学協会研究助成	07. 04

小原 伸一

H1	多摩区合唱連盟2007「たまコーラスのつどい」合唱指揮	多摩区民センター 大ホール	07. 07
H2	MOMENTS MUSICAUX Vol.2 音楽による叙情 バス=バリトンソロチャイコフスキー歌曲他の演奏	栃木県総合文化センター サブホール	07. 12
D1	劇音楽の教材研究に就いて—作品の版の違いに注目して(1)— (単著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 149-164	08. 03

## 美術教育講座

田代 甚一郎

H1	「LES DEUX (VI)」油彩, キャンバス 192×328cm (単著)	第81回国画会展, 国立神美術館 (東京, 六本木)	07. 05
H2	「Campo Cq' d'Oro」油彩, キャンバス (単著)	第1回個の地平, 日本橋高島屋6F美術画廊	07. 08

## 日原 公大

H1	「表と裏」櫥 40×40×100cm (単著)	パレ国際芸術シンポジウム展, (ボスニア・ヘルツェゴビナ)	07. 07
H2	「潜空する秘術を授かった行者あるひは將軍」楠 200×100×180cm (単著)	那須野が原国際彫刻シンポジウム展 (大田原)	07. 08
H3	「豚」黒御影石 40×50×40cm (単著)	栃木県芸術祭展 (宇都宮)	07. 09
H4	「ある肖像」楠 30×40×60cm (単著)	那須野が原国際彫刻シンポジウム小品展 (宇都宮)	07. 09
H5	「豚」楠 40×50×40cm (単著)	日・韓芸術交流展 (ソウル)	07. 09
H6	「潜空する秘術を授かった行者あるひは將軍」楠 200×100×180cm (単著)	第61回二紀展, 国立新美術館 (東京, 六本木)	07. 10
H7	「多聞天もどき」櫨 80×80×70cm (単著)	栃木県彫刻・造形協会展 (宇都宮)	07. 11
H8	「雲」白御影石 40×40×30cm (単著)	日・韓・台芸術(福岡)	07. 12
H9	「多聞天もどき」櫨 80×80×70cm (単著)	第9回春季二紀展, 東京都美術館 (東京, 上野)	08. 03
G1	パレ芸術シンポジウム	ボスニア・ヘルツェゴビナ	07. 07
G2	ヤホリナ芸術シンポジウム	ボスニア・ヘルツェゴビナ	07. 07
G3	那須野が原国際彫刻シンポジウム	大田原市	07. 08
G4	大田原アートフォーラム・コーディネーター	大田原市	07. 10
G5	鹿沼市立栗野中学校講演	鹿沼市立栗野中学校	08. 01
I1	地域プロジェクトと連携した大学美術教育カリキュラムの研究 (代表)	平成20年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)	08. 04
J1	富山県展審査委員		07. 06
J2	栃木県芸術祭展審査委員	栃木県立美術館	07. 09
J3	第12回全国竹芸展審査委員長		07. 09
J4	第61回二紀会展彫刻部審査委員	国立新美術館 (東京, 六本木)	07. 10
J5	鬼怒川改修80周年記念絵画コンテスト審査委員長		07. 12

## 山口喜雄

B1	戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(9)－掲載された映像メディア作品に関する考察 (単著) 「第32回InSEA国際美術教育学会世界大会2008in大阪」開催記念刊行 Study on the Works Introduced in Art Textbooks in the Last Half of the 20th Century in Japan [A Japanese-English translation] (Written between 1998-2008)	日本美術教育研究論集41, 67-76, 2008, 社団法人日本美術教育連合 科学研究費補助金 基盤研究A 報告書 I	08. 03
F1	中学校美術教科書における漫画と感性 (単著)	第9回日本感性工学会大会, 工学院大学新宿キャンパス (東京)	07. 08
F2	戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(9)－掲載された映像メディア作品に関する考察 (単著)	第41回日本美術教育研究発表会, 社団法人日本美術教育連合, 桑沢デザイン研究所 (東京)	07. 10
F3	美術教育文献アーカイビングの課題 (単著)	第46回大学美術教育学会神戸大会, 神戸国際会議場 (兵庫)	07. 11
F4	戦後の美術科教科書における掲載作品の研究－色彩に関する題材における説明文の考察 (単著)	第30回美術科教育学会群馬大会, 群馬大学	08. 03
F5	20世紀後半の日本美術科教科書研究と現代日本の美術科教科書編集 (招待セミナー: 共著)	第32回InSEA国際美術教育学会世界大会2008in大阪, 大阪国際交流センター	08. 08
F6	中学校美術科教科書に見るデザイン学習の半世紀 (単著)	第10回日本感性工学会大会, 大妻女子大学千代田キャンパス (東京)	08. 09
F7	戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(10)－色彩題材の変遷とその掲載作品の考察 (単著)	第42回日本美術教育研究発表会, 社団法人日本美術教育連合, 帝京平成大学池袋キャンパス (東京)	08. 10
G1	美術教育文献のアーカイビングに関する研究 (基調報告1)	第1回美術教育文献アーカイビング研究会〈後記科研A〉, 筑波大学附属小学校 (東京)	07. 07

G2	自信をもって図画工作指導ができる教師になる（講話）	平成19年度小学校経験者研修Ⅱ図画工作，福島県教育センター図画工作講習	07. 09 -10
G3	自信をもって図画工作の指導をするために（講話）	平成19年度上野賀小学校教育研究会図画工作科研修会，鹿沼市立津田小学校	07. 11
G4	美術教育文献のアーカイビングに関する研究（基調報告2）	第2回美術教育文献アーカイビング研究会，滋賀大学大津サテライトプラザ	07. 11
G5	子どもが自立した食生活をつくるために（講演）	平成19年度栃木県佐野市学校給食講演試食会，佐野市あくとプラザ	08. 01
H1	「憧憬（Mont Saint-Michel：フランス）」パステル，紙，B3（単著）	第4回ル・ボン展，ギャラリー・イン・ザ・ブルー（宇都宮）	08. 03
H2	「慕情（Saint-Malo：フランス）」パステル，紙，B3（単著）	第4回ル・ボン展，ギャラリー・イン・ザ・ブルー（宇都宮）	08. 03
I1	美術教育文献のアーカイビングに関する発展的研究（代表）	平成19-22年度科学研究費補助金 基盤研究A 課題番号19203036	07. 04
J1	解題：「アートエデュケーション第1巻第1号」建帛社刊	「美育文化」美育文化協会編	07. 05
J2	解題：ハーバート・リード著「芸術による教育（新訳）」	「美育文化」美育文化協会編	07. 07
J3	解題：「アートエデュケーション第5巻第1号」建帛社刊	「美育文化」美育文化協会編	07. 09
J4	解題：「日本美術教育研究論集371，2004」社団法人日本美術教育連合編	「美育文化」美育文化協会編	07. 11
J5	解題：「美術教育事典」芸術教育研究所編 国土社刊	「美育文化」美育文化協会編	08. 01
J6	解題：「山形寛先生を偲んで日本の美術教育を語る」社団法人日本美術教育連合編	「美育文化」美育文化協会編	08. 03

## 梶原 良成

E1	「安心・安全のクオリティー」（単著）	日本デザイン学会誌，デザイン学研究特集号，第15巻第3号通巻59号，p. 59	08. 03
H1	「履修ガイド 平成19年度入学者用」冊子 エディトリアル・デザイン（単著）	宇都宮大学教育学部	07. 04
H2	「学びの架け橋 2006」冊子 表紙デザイン（単著）	宇都宮市教育委員会・宇都宮大学教育学部 連携協議会	07. 05
H3	「宇都宮大学大学院教育学研究科」ポスター&フライヤー・デザイン（単著）	宇都宮大学大学院教育学研究科	07. 06
H4	「サマーフォーラム2007 大地の歌を描く人々〜ベルギー，クレアムの画家たち」展 アートディレクション（単著）	もうひとつの美術館（栃木県那須郡）	07. 06
H5	「すわる・はかる・あむ〜藝大建築教育100年のあゆみ」展 家具デザイン作品出品 1216×606×586mm（単著）	東京藝術大学美術学部建築科（東京藝術大学総合工房棟）	07. 09
H6	「2人から始まる〜アートリンク・プロジェクト」展 アートディレクション（単著）	もうひとつの美術館（栃木県那須郡）	07. 10
H7	「阿波町の家」建築設計：デザイン総括 79.89㎡（共著）	栃木県那須塩原市	07. 11
H8	「春爛漫〜今村花子 川村紀子 清野実菜 竹村幸恵」展 アートディレクション，グラフィックデザイン（単著）	もうひとつの美術館（栃木県那須郡）	08. 03
I1	中学校美術科における建築・環境デザイン分野についての導入状況に関する調査研究（代表）	平成19-21年度科学研究費補助金，基盤研究（C）	07. 04

## 松島 さくら子

H1	「undercurrents 2007-2」他 竹捲胎・乾漆造形作品（単著）	「松島さくら子展 漆のジュエリー」荒井アトリエ&ギャラリー（東京 恵比寿）	07. 04
----	--	---------------------------------------	--------



H2	「undercurrents I II III」竹捲胎・乾漆造形作品 (単著)	「第3回宇都宮美術の現在展」宇都宮美術館 (宇都宮)	07. 11
H3	「undercurrents 2008」竹捲胎・乾漆造形作品 (単著)	「現代作家立体小品展」ワコール銀座アートスペース (東京 銀座) / ギャラリーマロニエ (京都)	08. 01
H4	「Overtones - cone」他 漆竹捲胎造形作品 (単著)	第5回 ルボン展 ギャラリー・イン・ザ・ブルー (宇都宮)	08. 02
D1	「ミャンマーにおける漆工芸を通じた工芸教育交流」 (単著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 181-191	08. 03
I1	「色彩画像における黒みの感性的役割とその心理物理学的定量化」 (分担)	平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)	07. 04

#### 株田 昌彦

H1	「供給システム」油彩, パネル 130.3×162.0cm (単著)	第7回前田寛治大賞展, 日本橋高島屋	07. 08
H2	「Round About」油彩, パネル 194.0×162.0cm (単著)	第61回二紀展, 損保ジャパン美術財団奨励賞, 国立新美術館 (東京, 六本木)	07. 10
H3	「供給塔」油彩, パネル 91.0×72.7cm (単著)	平成19年第61回二紀展受賞作家展 松坂屋別館4階画廊 (東京, 銀座)	08. 01
H4	「供給地点」他 油彩, パネル 45.5×53.0cm (単著)	第43回昭和会展	08. 01
H5	「隣立するもの」油彩, パネル 182.0×130.3cm (単著)	第9回春季二紀展, 東京都美術館 (東京, 上野)	08. 03

#### 保健体育講座

##### 小宮 秀明

A1	中国「上海市」における小学5年生の肥満の現状と児童の体型認識 (共著)	保健の科学, 49 (4), pp. 287-293	07. 04
A2	中国「上海市」における児童の肥満と生活習慣との関連性 (共著)	肥満研究, 13 (1), pp. 23-28	07. 04
A3	疾病の有病数からみた理想的なBMIの検討 (共著)	肥満研究, 13 (3), pp. 256-267	07. 12
A4	多周波インピーダンス法による広がり抵抗を利用した筋肉内部の電氣的測定 (共著)	臨床スポーツ医学, 24 (11), pp. 1211-1216	07. 11
A5	児童の肥満と外遊びとの関連性 (共著)	保健の科学, 50 (1), pp. 59-69	08. 01
A6	児童の体力と外遊びとの関連性 (共著)	体育の科学, 58 (1), pp. 70-75	08. 01
A7	Criteria for Evaluation of Obesity in School-Aged Children Using BMI (共著)	Tohoku Journal Experimental Medicine, 214(1), pp. 27-37	08. 01
A8	Development of a New Method for Estimating Visceral Fat Area with Multi-Frequency Bioelectrical Impedance (共著)	Tohoku Journal Experimental Medicine, 214(2), pp. 105-112	08. 02
A9	指定された運動強度と自覚的運動強度の関係を再考する - 運動処方実施初期におけるドロップアウトを防ぐため - (共著)	健康医科学, 23 (3), pp. 51-59.	08. 03
E1	日常の生活習慣が児童の体格に及ぼす影響について (共著)	本県児童生徒の体力, 栃木県教育委員会, pp. 23-31	08. 03
F1	多周波インピーダンス法によるヒト大腿部の筋体積量の算出 (共著)	第15回日本運動生理学会 (弘前)	07. 07
F2	大学生の骨格筋量の多寡に及ぼす過去の運動習慣の影響 (共著)	第15回日本運動生理学会 (弘前)	07. 07
F3	広がり抵抗を利用した筋肉内部の電氣的探索 (共著)	第15回日本運動生理学会 (弘前)	07. 07
F4	ラット挙重筋生体内標本の細動脈近傍NO濃度及び血流動態の経時計測 (共著)	第15回日本運動生理学会 (弘前)	07. 07
F5	栃木県大田原市の市民健康診査データを基にしたメタボリックシンドロームの解析 第1報: メタボリックシンドロームにおける「血圧高値」の位置づけ	第22回日本糖尿病合併症学会 (つくば)	07. 10

F6	栃木県大田原市の市民健康診査データを基にしたメタボリックシンドロームの解析 第2報：日本の診断基準, IDFの日本人用診断基準を用いた場合の相違点 (共著)	第22回日本糖尿病合併症学会 (つくば)	07. 10
F7	内臓脂肪型肥満を検出するためのウエスト身長比の妥当性 (共著)	第28回日本肥満学会 (東京)	07. 10
F8	形態計測値及び血液生化学検査項目を用いた内臓脂肪面積の推定法の開発 (共著)	第28回日本肥満学会 (東京)	07. 10
F9	大学生の身体組成に及ぼす過去の運動習慣の影響 (共著)	第15回小児BI法研究会 (東京)	08. 01
F10	食事バランスガイドからみた児童の朝食摂取内容とライフスタイルとの関連性 (共著)	第15回小児BI法研究会 (東京)	08. 01
F11	指定された運動強度での運動中における自覚的運動強度と「快不快感」の関係 (共著)	第78回日本衛生学会 (熊本)	08. 03
F12	多周波インピーダンス法による大腿部の筋体積量の推定法の開発 (共著)	第13回ボディ・コンポジションと代謝研究会 (東京)	08. 03
F13	測定体位, 電極配置, 周波数を考慮した多周波インピーダンス法による内臓脂肪面積の推定 (共著)	第13回ボディ・コンポジションと代謝研究会 (東京)	08. 03
F14	インピーダンスの変化から筋肉内に挿入した鉄芯の位置が検出できるか?—一筋肉局所の広がり抵抗を用いて— (共著)	第13回ボディ・コンポジションと代謝研究会 (東京)	08. 03
G1	児童生徒の食習慣の現状と今後の課題	県スポーツ振興課	07. 04
G2	なぜ, 運動は肥満や糖尿病の予防・是正によいのか	県スポーツ振興課	07. 06
G3	肥満と糖尿病の健康管理	放送大学	07. 06
G4	中学生にとっての運動と栄養の重要性	宇都宮市立宝木中学校	07. 07
G5	中学生の体力・体格・食育の現状	栃木県中学校教育研究会保健体育部会研修会	07. 08
G6	子どもの体力を考える	県教育委員会スポーツ振興課	07. 09
G7	バレーボールに必要な体力トレーニング	平成19年度バレーボール公認指導者講習会	07. 09
G8	お手軽 簡単 朝食メニューコンクール	宇都宮市保健福祉部健康増進課	07. 09
G9	日常生活習慣に関するアンケートと新体力テストについて	宇都宮市立宝木中学校保護者講演会	07. 10
G10	学校における食育推進について	鹿沼市教育委員会	07. 11
G11	わが子の生活習慣をワンランクアップ! ~「わが子」のいまの生活習慣が未来の「わが子」の健康を左右します~	宇都宮保健所健康増進課	07. 11
G12	子どもにとって, なぜ食育が大切か?	栃木市立南小PTA講演会	08. 02
I1	多周波インピーダンスによる内臓脂肪面積推定法の開発 (代表)	平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究(C)	08. 03
松村 司朗			
D1	教育剣道 思いを馳せる壮大な時間と仲間	研究情報誌「ゼミナール剣道」, 9, p. 2	07. 04
G1	剣道に関する諸作法	平成19年度栃木県中学校体育連盟剣道専門部研修会 (宇都宮市立瑞穂野中学校)	07. 10
H1	剣道演武	第103回全日本剣道演武大会全日本剣道連盟 (京都武徳殿)	07. 05
H2	居合道演武	第103回全日本剣道演武大会全日本剣道連盟 (京都武徳殿)	07. 05
H3	剣道審判員	第49回全国教職員剣道大会全日本学校剣道連盟 (大分県別府アリーナ)	07. 09
黒後 洋			
A1	スポーツクラブづくりマニュアル2007	pp. 10-18, 栃木県体育協会	07. 10
D1	栃木県における総合型地域スポーツクラブの現状と課題について(2)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 389-398	07. 07
G1	栃木県バレーボール協会指導者講習会	宇都宮市体育館他	07. 11

G2	栃木県バレーボール協会中高合同研修会	宇都宮市体育館他	08. 02
H1	第56回関東甲信越大学体育大会優勝(バレーボール)	神奈川県	07. 08
H2	平成20年度秩父宮賜杯全日本大学バレーボール選手権大会出場	東京都体育館他	07. 12

### 平野 智之

D1	基本の運動(水遊び)における学習環境の現状と課題—M市小学校の調査結果をもとに—(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 379-388	07. 07
D2	中学生における疾走能力を高めるための運動プログラムの練習効果(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 369-378	07. 07
E1	宇都宮市冒険活動事業(共著)	宇都宮大学地域貢献支援事業報告書 pp. 1-7	07. 07
G1	宇都宮市中学校教育研究会特別活動部会研修会講師	とちぎ男女共同参画センター	07. 08

### 久保 元芳

B1	青少年の危険行動に関わるセルフエスティーム尺度の信頼性および妥当性の検討(共著)	いばらき健康・スポーツ科学, 25, pp. 1-9	07. 07
F1	Relationships between early experience of smoking, drinking and multiple risk behaviors in the later high school years among Japanese adolescents (共著)	The 19th IUHPE World Conference on Health Promotion and Health Education (Vancouver, Canada)	07. 06
F2	Relative importance of self-esteem and normative consciousness related to appearance of risk behaviors among Japanese adolescents (共著)	The 19th IUHPE World Conference on Health Promotion and Health Education (Vancouver, Canada)	07. 06
F3	学級集団を対象とした中学生のコーピングスキルを高める健康教育の実践的検討(共著)	第54回日本学校保健学会(市川)	07. 09
F4	大学生の「イッキ飲み」防止に関する視聴覚教材の開発(共著)	第54回日本学校保健学会(市川)	07. 09
F5	養護教諭の職務満足感に関する研究—都内T研究会を対象として—(共著)	第54回日本学校保健学会(市川)	07. 09
F6	我が国の青少年の危険行動に関わるセルフエスティームおよび規範意識の相対的な影響(共著)	第54回日本学校保健学会(市川)	07. 09
F7	高校生のサプリメント摂取と危険行動との関連(共著)	第54回日本学校保健学会(市川)	07. 09

## 技術教育講座

### 鈴木 道義

B1	伸張下に置かれた水滴の突沸挙動に及ぼす振動の影響(共著)	日本産業技術教育学会誌, 第49巻, 第1号, pp. 33-40	07. 04
B2	内燃機関のピストンリング部における潤滑特性の解析—リングすべり面形状の影響—(共著)	日本産業技術教育学会誌, 第49巻, 第1号, pp. 41-47	07. 04
B3	ピストンリングの温度と動きを考慮したピストンリング部の油膜厚さと熱移動の解析(共著)	自動車技術会論文集, Vol. 38, No. 5, pp. 63-69	07. 09
B4	自律型ロボット教材を活用したプログラムと計測・制御学習に関する授業方法の開発と評価(共著)	日本産業技術教育学会誌, 第49巻, 第4号, pp. 25-33	08. 03
C1	An Analysis of Ring Temperature, Oil Film temperature and Oil Film Thickness on a Piston Ring of an IC Engine in Consideration of Ring Movement (共著)	Proceedings of ASME Internal Combustion Engine Division 2007 Fall Technical Conference, Charleston, South Carolina, USA. Paper ICEF2007-1653 (9pages)	07. 10
D1	持続可能な成長につながる人間力の育成をめざす技術科学学習プログラムの開発—PDCAサイクルによるループスパイラル学習の提案—(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 529-538	07. 07
D2	低温度差スターリングエンジンを搭載した模型自動車の試作(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 569-576	07. 07

D3	ラジオ教材を用いた授業実践(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 577-584	07. 07
D4	エンジン燃焼室壁面における潤滑油蒸発量の予測—油膜温度とライナ壁温度の影響—(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 31-40	08. 03
D5	振動を受ける過熱水滴の突沸挙動—振動強度の影響—(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 15-21	08. 03
F1	PDCAサイクルとこれからの技術科教育(共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 62	07. 08
F2	振動を受ける過熱水滴の核生成挙動(共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 94	07. 08
F3	ピストンリングの動きを考慮したピストンリング部の油膜厚さと熱移動の解析—第4報—(共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 97	07. 08
F4	ピストンリング部の潤滑・熱伝達に及ぼすリング形状の影響(共著)	日本機学会2007年度年次大会講演論文集(3), pp. 239-240	07. 09
F5	An Analysis of Ring Temperature, Oil Film temperature and Oil Film Thickness on a Piston Ring of an IC Engine in Consideration of Ring Movement (共著)	ASME Internal Combustion Engine Division 2007 Fall Technical Conference	07. 10
F6	持続可能な成長につながる人間力の育成をめざす技術科学習プログラムの開発—ロボコン題材による授業実践と考察—(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会講演論文集, A-11(1-2)	07. 12
F7	エンジン燃焼室壁面における潤滑油蒸発量の予測—油膜厚さの影響—(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会講演論文集, C-6(1-2)	07. 12
F8	振動を受ける過熱水滴の突沸挙動—振動強度の影響—(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会講演論文集 (2007-12), C-10(1-2)	07. 12
戸田 富士夫			
B1	伸張下に置かれた水滴の突沸挙動に及ぼす振動の影響 (共著)	日本産業技術教育学会誌, 第49巻 第1号, pp. 33-40	07. 04
C1	Development of Low-Temperature Difference Stirling Engine -Behavior of the mechanism effectiveness for the performance prediction method- (共著)	The 13th International Stirling Engine Conference 2007, pp. 46-51	07. 09
C2	The Analysis of Ross-Yoke Drive Mechanism -The estimate of Piston stroke and Phase angle- (共著)	The 13th International Stirling Engine Conference 2007, pp. 362-365	07. 09
C3	The performance prediction method of a stirling engine for education (共著)	The 13th International Stirling Engine Conference 2007, pp. 366-369	07. 09
D1	低温度差スターリングエンジンを搭載した模型自動車の試作 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 569-576	07. 07
D2	振動を受ける過熱水滴の突沸挙動—振動強度の影響—	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, p. 15-21	08. 03
F1	高速型ビー玉エンジン自動車の開発 (共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 58	07. 08
F2	低温度差スターリングエンジン自動車の製作 (共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 59	07. 08
F3	模型スターリングエンジンの性能予測法 (共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 96	07. 08
F4	振動を受ける過熱水滴核生成挙動 (共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 94	07. 08
F5	低温度差スターリングエンジンのメカニズム効率が性能特性に及ぼす影響に関する研究 (共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, C-4	07. 12
F6	スターリング機関の動作原理を効果的に指導する教材・教具の開発と試行的実践 (共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, C-5	07. 12
F7	低温度差スターリングエンジンの性能特性に関する研究 (共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, C-8	07. 12
F8	スターリングエンジンの性能解析 (共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, C-9	07. 12

F9	振動を受ける過熱水滴の突沸挙動－振動強度の影響－(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, C-10	07. 12
苔米地 義郎			
D1	ラジオ教材を用いた授業実践(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 577-584	07. 07
D2	最適形状を考慮した積層型誘電体円板によるBPFの透過電力特性(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 23-30	08. 03
D3	誘電体共振器を用いたミリ波帯における複素比誘電率の測定法(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 41-48	08. 03
針谷 安男			
A1	摩擦・磨耗試験機とその活用－摩擦面温度の測定－(共著)	日本トライボロジー学会編, 養賢堂	07. 08
B1	伸張下に置かれた水滴の突沸挙動に及ぼす振動の影響(共著)	日本産業技術教育学会誌, 第49巻 第1号, pp. 33-40	07. 04
B2	内燃機関のピストンリング部における潤滑特性の解析－リングすべり面形状の影響－(共著)	日本産業技術教育学会誌, 第49巻 第1号, pp. 41-47	07. 04
B3	ピストンリングの温度と動きを考慮したピストンリング部の油膜厚さと熱移動の解析(共著)	自動車技術会論文集, Vol. 38, No. 5, pp. 63-69	07. 09
B4	An Analysis of Ring Temperature, Oil Film Temperature and Oil Film Thickness on a Piston Ring of an IC Engine in Consideration of Ring Movement: Effect of Ring Sliding Face Profile(共著)	Proceedings of the ASME Internal Combustion Engine Division 2007 Fall Technical Conference, ICEF2007, pp. 1-9	07. 10
B5	自律型ロボット教材を活用したプログラムと計測・制御学習に関する授業方法の開発と評価(共著)	日本産業技術教育学会誌, 第49巻 第4号, pp. 297-305	08. 03
D1	持続可能な成長につながる人間力の育成をめざす技術科学習プログラムの開発－PDCAサイクルによるループ・スパイラル学習の提案－(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 529-538	07. 07
D2	自律型ロボット教材を用いたプログラム学習に対する効果(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 539-548	07. 07
D3	エネルギー変換学習用動力伝達教材の開発(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 549-558	07. 07
D4	自律型ロボットを用いた学習プログラムの開発 - 初等技術教育用学習プログラムの提案 - (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 559-568	07. 07
D5	低温度差スターリングエンジンを搭載した模型自動車の試作(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 569-576	07. 07
D6	油膜温度計算モデルからの油膜蒸発量の予測－油膜温度と蒸発量の関係－(共著)	日本機械学会RC221第9期エンジントライボロジー研究分科会, 研究報告書, pp. 90-97	07. 08
D7	振動を受ける過熱水滴の突沸挙動-振動強度の影響-(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 15-21	08. 03
D8	エンジン燃焼室壁面における潤滑油蒸発量の予測－油膜温度とライナ壁温度の影響－(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 31-40	08. 03
F1	ピストンリングの温度と動きを考慮したピストンリング部の油膜厚さと熱移動の解析 第2報(共著)	自動車技術会2007年春季大会, 学術講演会前刷集, No. 63-07, pp. 15-18	07. 05
F2	PDCAサイクルとこれからの技術科教育(共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 62	07. 08
F3	振動を受ける過熱水滴の核生成挙動(共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 94	07. 08
F4	ピストンリングの動きを考慮したピストンリング部の油膜厚さと熱移動の解析 -第4報-(共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 97	07. 08
F5	ロボット教材を使用したプログラム学習に対する効果の検証-第2報-(共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 105	07. 08
F6	自律型ロボットを用いた学習プログラムの開発(共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会講演要旨集, p. 106	07. 08
F7	ピストンリング部の潤滑・熱伝達に及ぼすリング形状の影響(共著)	日本機械学会2007年度年次大会, 講演論文集 Vol. 3, pp. 239-240	07. 09

F8	An Analysis of Ring Temperature, Oil Film Temperature and Oil Film Thickness on a Piston Ring of an IC Engine in Consideration of Ring Movement: Effect of Ring Sliding Face Profile(共著)	The ASME Internal Combustion Engine Division 2007 Fall Technical Conference (Charleston, South Carolina, USA)	07. 10
F9	小学校向けロボット教材に関する一考察(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, A-7	07. 12
F10	自律型ロボット教材を用いた「プログラムと計測・制御」の授業実践(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, A-9	07. 12
F11	持続可能な成長につながる人間力の育成をめざす技術科学習プログラムの開発ーロボコン題材による授業実践と考察についてー(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, A-11	07. 12
F12	技術的素養を育成する小学校中・高学年向けものづくり教材の開発ー技術観・労働観を重視してー(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, B-8	07. 12
F13	スターリング機関の動作原理を効果的に指導する教材・教具の開発と試行的実践(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, C-5	07. 12
F14	エンジン燃焼室壁面における潤滑油蒸発量の予測ー油膜厚さの影響ー(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, C-6	07. 12
F15	振動を受ける過熱水滴の突沸挙動ー振動強度の影響ー(共著)	日本産業技術教育学会第19回関東支部大会, 講演論文集, C-10	07. 12
G1	油膜温度計算モデルからの油膜蒸発量の予測ー油膜温度と蒸発量の関係ー(共著)	日本機械学会RC221第9期エンジントライボロジー研究分科会, 最終報告会	07. 06
G2	自律型ロボット教材用PICマイコンロボットの開発(共著)	日本産業技術教育学会第50回全国大会, 第4回学会屋台「ロボット教材大集合」	07. 08

#### 松原 真理

D1	ラジオ教材を用いた授業実践(共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 577-584	07. 07
D2	最適形状を考慮した積層型誘電体円板によるBPFの透過電力特性(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 23-30	08. 03
D3	誘電体共振器を用いたミリ波帯における複素比誘電率の測定法(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 41-48	08. 03

#### 家政教育講座

##### 清水 裕子

D1	万葉集にあらわされた染め(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 193-202	08. 03
D2	布の物性値が視覚的触感に与える影響(共著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 49-58	08. 03
B1	万葉集にあらわされた織り(共著)	感性哲学, 7, pp. 72-85	07. 08
F1	伝統的な生活文化をとりいれた教育	日本感性工学会大会第4回春季大会予稿集CDROM版	08. 03
F2	結城紬の感性分析(その3)-生産者と消費者のイメージ評価の比較-	日本感性工学会大会第5回春季大会予稿集CDROM版	08. 03
F3	結城紬における文様の感性分析(その2)-消費者のイメージ評価-	日本感性工学会第9回大会予稿集CDROM版	07. 08
F4	結城紬における文様の感性分析(その1)-生産者のイメージ評価-	日本感性工学会第9回大会予稿集CDROM版	07. 08
F5	伝統的な生活文化を取り上げた感性教育	日本感性工学会第9回大会予稿集CDROM版	07. 08
F6	環境感性の育成をめざしたものづくり環境教育の実践的研究	日本感性工学会第9回大会予稿集CDROM版	07. 08

## 陣内 雄次

A1	コミュニティ・カフェと市民育ちーあなたにもできる地域の縁側づくりー	pp. 3-5, 12-67, 146-152, 萌文社	07. 09
D1	地域からの学びと育ち（第二報）ー宇都宮市を対象としてー	宇都宮大学教育学部附属教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 317-326	07. 07
D2	市民の手による市民のためのまちづくりーとちぎ市民まちづくり研究所の試みー	「地域政策研究」第41号, pp. 56-65	07. 12
D3	住み続けられる中心市街地を目指して（第二報）ー宇都宮市西地区を例にー	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 203-214	08. 03
F1	ESD授業デザインプロジェクトーグローバルな教育（開発教育）とローカルな教育（まち学習）を一緒にデザインするー	第25回開発教育全国研究集会	07. 08
J1	子ども参画のまちづくり	「フーガ」2007年4月号, pp. 32-33	07. 04
J2	“浪費されない”住まいとまちへ	「フーガ」2007年5月号, pp. 84-85	07. 05
J3	コミュニティビジネスとまちづくり	「フーガ」2007年6月号, pp. 92-93	07. 06
J4	NPOという生き方	「フーガ」2007年7月号, pp. 84-85	07. 07
J5	敢えて、景観を再考する(1)	「フーガ」2007年8月号, pp. 78-79	07. 08
J6	敢えて、景観を再考する(2)	「フーガ」2007年9月号, pp. 80-81	07. 09
J7	生業づくりとヒトビト	「フーガ」2007年10月号, pp. 86-87	07. 10

## 真下 弘征

D1	箸の授業づくりー「割り箸問題」学習のための教材化ー	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 297-305	07. 07
D2	「箸の授業」をいかに創るかー小学生と大学生における箸づくりの授業実践ー（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 307-316	07. 07
D3	環境教育学試論（2）ー環境教育教材としての「環境行政のあり方」ー	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 215-226	08. 03
D4	近年の「食育」運動と「食農」教育に関する一考察	日本農業教育学会誌 第38巻 別冊	07. 07
F1	政府の「食育国民運動」と「食農教育」欠落に関する一考察	第65回日本農業教育学会	07. 08
G1	食教育のあり方を問うー「食育」運動からアメリカ食糧戦略史を見る	第56回技術教育・家庭科教育全国研究大会	07. 08
J1	特集「環境教育が技術・家庭科を活かす」を読む始点	技術教室, 665号, pp. 4-5, 農文協	07. 12
J2	「家庭科における食育を考える」研究1の報告（共同）	教育大学協会家庭科部門「食育委員会」	07. 08

## 赤塚 朋子

D1	環境負荷の少ない生活への「マイ・エコ・タックル」の提案（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 327-336	07. 07
F1	大学の家庭科教育学研究からみた課題と展望ー日本家庭科教育学会50周年記念特別企画シンポジウム「家庭科教育の継承と発展ーくらしをみつめくらしを豊かにする学びをとおしてー」	日本家庭科教育学会誌, Vol. 50 No. 3, pp. 199-210 (202-205)	07. 10

## 佐々木 和也

A1	生活環境論(分担)	223ページ, 光生館	08. 03
D1	里山を利用した藍染と日下田紺屋見学(単著)	天然染料顔料会議報告書2007, pp. 21-23	08. 03
D2	古民家再生から日本の感性を考えるー“すまいかた”から環境共生を提案-(単著)	天然染料顔料会議報告書2007, pp. 24-28	08. 03
D3	万葉集にあらわされた染め（共著）	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 193-202	08. 03
D4	布の物性値が視覚的触感に与える影響（共著）	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第2部, pp. 49-58	08. 03
B1	万葉集にあらわされた織り（共著）	感性哲学, 7, pp. 72-85	07. 08

F1	伝統的な生活文化をとりいれた教育	日本感性工学会大会第4回春季大会予稿集CDROM版	08. 03
F2	結城紬の感性分析（その3）-生産者と消費者のイメージ評価の比較-	日本感性工学会大会第5回春季大会予稿集CDROM版	08. 03
F3	ものづくり体験を通して「かかわる」意欲と力を育てる	国際幼児教育学会第28回大会プログラム, p. 37	07. 11
F4	日本民家の“かたち”を次世代に継承-すまいかたから環境共生を提案	第4回天然染料顔料会議大会, ポスター	07. 09
F5	ものづくり環境教育の提案と実践	第4回天然染料顔料会議大会, ポスター	07. 09
F6	結城紬における文様の感性分析（その2）-消費者のイメージ評価-	日本感性工学会第9回大会予稿集CDROM版	07. 08
F7	結城紬における文様の感性分析（その1）-生産者のイメージ評価-	日本感性工学会第9回大会予稿集CDROM版	07. 08
F8	伝統的な生活文化を取り上げた感性教育	日本感性工学会第9回大会予稿集CDROM版	07. 08
F9	環境感性の育成をめざしたものづくり環境教育の実践的研究	日本感性工学会第9回大会予稿集CDROM版	07. 08
I1	伝統染色技法を応用したノンケミカルファブリック「生成織」「天然染織」の開発	産学連携共同研究費	07. 08
I2	地域の草木素材を活用した染色教材の開発とその普及	地域連携活動事業(学長裁量経費)	07.
J1	身体記憶-黄八丈の継承と教育	南海タイムズ	08. 01

## 大森 玲子

B1	The coantioxidative effects of carboxyethyl-6-hydroxychromans and alpha-Tocopherol (共著)	J Nutr Sci Vitaminol, 53 (4), pp. 301-305	07. 08
B2	Magnetic resonance evaluation of the associations of thoracic and abdominal aortic plaques with the presence and extent of coronary artery stenosis (共著)	J Cardiovasc Magn Reson, 9 (6), pp. 855-861	07. 09
B3	Effect of bezafibrate therapy on atherosclerotic aortic plaques detected by MRI in dyslipidemic patients with hypertriglyceridemia (共著)	Atherosclerosis, 196 (1), pp. 425-33	08. 01
D1	保育園児の食生活等に関する実態調査 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 361-368	07. 07
D2	児童の食生活等実態調査と食育の実践 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 351-360	07. 07
D3	学校における食育の推進と栄養教諭の役割 (単著)	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部, pp. 227-237	08. 03
D4	心臓病の初発・再発予防とリハビリテーション-食事療法で初発・再発抑制はできるのか (単著)	からだの科学, 257, pp. 171-174	08. 03
F1	胸腹部大動脈プラークの頻度と年齢の関連性: MRIによる検討 (共著)	第25回日本老年学会総会 (札幌)	07. 06
F2	不安定狭心症例のHPLC陰イオンカラム測定法による酸化LDL分画値 (共著)	第39回日本動脈硬化学会総会 (大阪)	07. 07
F3	Associations between Plasma Osteopontin (OPN) Levels and Coronary Artery Disease (CAD) (共著)	第39回日本動脈硬化学会総会 (大阪)	07. 07
F4	Prognostic significance of plasma osteopontin levels in patients undergoing percutaneous coronary intervention (共著)	80th Scientific Sessions, American Heart Association (Orlando, USA)	07. 11
F5	Magnetic resonance evaluation of the associations of thoracic and abdominal aortic plaques with the presence and extent of coronary artery stenosis (共著)	11th Scientific Sessions, Society for Cardiovascular Magnetic Resonance (Los Angeles, USA)	08. 02
G1	女性研究者育成モデル事業支援COSMOS交流会 (パネリスト)	お茶の水女子大学	07. 06
G2	地方の食習慣と疾病 (講師)	宇都宮市民大学	07. 06
G3	高齢者の食事と疾病の発生時間帯 (講師)	宇都宮市民大学	07. 06



G4	日本の伝統的食事を見なおそう（講師）	宇都宮市民大学	07. 07
G5	平成19年度栃木県教育職員免許法認定講習（栄養教諭育成講習事業）「栄養指導論」（講師）	宇都宮大学	07. 08
G6	宇都宮大学公開講座「栃木の食材と食文化」（講師）	宇都宮大学	07. 09
G7	食育シンポジウム（司会&コーディネーター）	宇都宮大学	08. 02
G8	栃木県学校栄養士会研修会「食育、調査からみえてきたこと」（講師）	栃木県学校給食会	08. 02
I1	成育環境および発達段階を踏まえた食育プログラムの開発（代表）	平成19-20年度科学研究費補助金、若手研究（スタートアップ）	07. 04
I2	発達段階を踏まえた子どもの食育実践プログラムの構築（代表）	平成19年度学内若手教員研究助成	07. 04
J1	はてな探検隊「あじさいの色を決めるものは何？」	下野新聞2007. 7. 15	07. 07
J2	一般演題4 MMP（座長）	第5回日本機能性食品医学会（東京）	07. 12

## 英語教育講座

浅野 一郎

D1	英語教育における英語学2（単著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要，第30号，pp. 399-404	07. 07
----	------------------	--	--------

幡山 秀明

D1	<i>The Red Badge of Courage</i> 論—“Mule Drivers”の勇気—（単著）	宇都宮大学教育学部紀要，第58号，第1部，pp. 239-247	08. 03
D2	James Baldwin再読（1）： <i>Another Country</i> について（単著）	外国文学，第57号，pp. 119-128	08. 03
D3	英語教育と文学的教材VI（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要，第30号，pp. 405-409	07. 07
D4	英語教育と文学的教材IV（共著）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要，第30号，pp. 411-418	07. 07
F1	<i>In Our Time</i> に隠された“a pretty good unity”（単著）	2007年日本アメリカ文学会第46回全国大会研究発表	07. 10

渡辺 浩行

F1	小学校英語担当者に求められる資質とは何か	小学校英語教育学会第7回全国大会（鳴門教育大学）	07. 08
F2	小中連携をめざしたこう学年の英語活動	小学校英語教育学会第7回全国大会（鳴門教育大学）	07. 08
G1	下野市教育委員会・下野市立古山小学校（文科省小学校英語活動等国際理解活動拠点校）学校課題研修会	下野市立古山小学校	07. 04 ～
G2	平成19年度栃木県小学校英語活動推進者養成研修	宇都宮大学	08. 03
G3	第34回新潟県私学教育研修会	新潟県湯沢町ナスパニューオタニ	07. 08
G4	平成19年度那須地区中教研英語部会夏季一斉研修会	那須塩原市立いきいきふれあいセンター	07. 08
G5	平成19年度文部科学省採択事業東京国際大学「英語指導力開発ワークショップ」	東京国際大学	07. 08
G6	平成19年度川越市中学校英語研修会	川越市教育委員会	07. 08
G7	那須塩原市教育委員会教育課題研修「小学校における英語活動」	那須塩原市立鍋掛小学校	07. 11
G8	上三川町立本郷北小学校学校課題研修「豊かな表現力を育成する指導の工夫」	上三川町立本郷北小学校	07. 11
G9	宇都宮市立清原北小学校学校課題研究「会話科」	宇都宮市立清原北小学校	07. 11
G10	平成19年度山梨県中学校英語教育研究会秋季研究会	山梨県笛吹市スコレセンター	07. 11
G11	宇都宮大学教育学部・平成19年度宇都宮大学小学校英語研修	宇都宮大学	07. 11 ～12

G12	平成19年度那須地区中学校教育研究会英語部会秋季研修会	那須塩原市立東那須中学校	07. 12
G13	上三川町立本郷北小学校学校課題研修「豊かな表現力を育成する指導の工夫」	上三川町立本郷北小学校学校	08. 01
G14	平成19年度上三川町中学校英語担当教諭臨時研修会	上三川町庁舎中会議室	08. 03
G15	平成19年度上三川町小学校英語活動担当者臨時研修会	上三川町庁舎中会議室	08. 03
G16	宇都宮市立清原北小学校研修「会話科」における授業実践	宇都宮市立清原北小学校	08. 03
J1	大学英語教師が英語で授業をする日は来るか?	英語教育, Vol. 56 No. 7, pp. 30-32	07. 09

### 天沼 実

D1	外国語授業におけるe-ラーニング (Moodle) 利用の試み (単著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 11-16	07. 07
----	--------------------------------------	--	--------

### 谷 光生

D1	Adverbial NPs of spatial extension: a preliminary survey	宇都宮大学教育学部紀要, 第58号, 第1部	08. 03
D2	Semantic distinctness between the Japanese quantifier-floating construction and related constructions	外国文学, 第57号, pp. 103-117	08. 03

### ハウ エトワート・ロナルト

H1	Internationalization of Higher Education in Japan	Paper and presentation at the 53rd annual meeting of the Comparative and International Education Society, Columbia University, NY.	08. 03
H2	Japan's Teacher Acculturation	Invited lecture, US Fulbright Teachers' visit, Utsunomiya University	07. 06

## 附属教育実践総合センター

### 石川 賢

A1	情報教育事典 18 カリキュラム・学習指導・評価 (技術教育と情報教育を分担) (共著)	丸善株式会社	08. 02
D1	「理科」におけるe-ラーニングと今後の課題 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 1-10	07. 07
D2	情報メディアを用いた授業改善の試み (第3報) - 中学校教育へのe-ラーニングシステムの導入と試行について - (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 17-26	07. 07
D3	Webコンテンツを用いた進路学習の試行 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 27-36	07. 07
D4	グループ学習を目的としたドリル型学習ソフトウェアの開発と評価 (Ⅱ) - 小学校社会科における地図記号の学習について - (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 37-46	07. 07
D5	部分構造交換法を用いたカード型学習指導用ソフトウェアの開発と評価 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 47-56	07. 07
D6	計算力の向上を目的としたパズル型学習ソフトウェアの開発と評価 (共著)	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 57-66	07. 07
E1	インターネット学習支援用Web型教材の開発とその学習支援機能や着想の効果の研究 (共著)	68ページ, 平成15-18年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 研究成果報告書 (研究代表者: 石川 賢)	07. 04
F1	パズル型学習ソフトウェアの開発と評価 (共同)	日本教育工学会全国大会 (早稲田大学)	07. 09
F2	中学校古典教育用ソフトウェアの開発と試行 - 統合型教材と分散型教材の試行 - (共同)	全日本教育工学研究協議会全国大会 (旭市)	07. 11
G1	IT活用による授業の改善 (講師)	宇都宮市教育センター	07. 06

I1	Web型教材コンテンツの学習支援機能や着想の系統化と実証授業による学習効果の評価 (代表)	平成19-22年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)	07. 04
I2	授業改善を図るeラーニング用コンテンツの開発促進事業 (分担)	平成19年度教育改革・改善支援経費	07. 04

## 川島 芳昭

D1	「理科」におけるeラーニングと今後の課題 (共著)	宇都宮大学教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 1-10	07. 07
D2	情報メディアを用いた授業改善の試み (第3報)-中学校教育へのeラーニングシステムの導入と試行について- (共著)	宇都宮大学教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 17-26	07. 07
D3	Webコンテンツを用いた進路学習の試行 (共著)	宇都宮大学教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 27-36	07. 07
D4	グループ学習を目的としたドリル型学習指導用ソフトウェアの開発と評価-小学校社会科における地図記号の学習について- (共著)	宇都宮大学教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 37-46	07. 07
D5	部分構造交換法を用いたカード型学習指導用ソフトウェアの開発と評価-中学校理科における動物の分類の学習について- (共著)	宇都宮大学教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 47-56	07. 07
D6	計算力の向上を目的としたパズル型学習ソフトウェアの開発と評価-10のまとまりに着目した基本計算のトレーニング- (共著)	宇都宮大学教育実践総合センター紀要, 第30号, pp. 57-66	07. 07
F1	パズル型学習ソフトウェアの開発と評価-10のまとまりに着目した基本計算練習- (共同)	日本教育工学会第23回全国大会講演論文集, pp. 385-386	07. 09
F2	中学校古典教育用ソフトウェアの開発と試行-統合型教材と分散型教材の試行- (共同)	第33回全日本教育工学研究協議会全国大会【千葉県旭市大会】大会要項資料集	07. 11
F3	植物の分類の学習を支援するゲーム型学習ソフトウェアの開発とその効果 (共同)	第33回全日本教育工学研究協議会全国大会【千葉県旭市大会】大会要項資料集	07. 11
G1	栃木県高等学校教育研究会視聴覚部会総会・研究大会「教員に求められる資質とこれからの高等教育」(講師)	栃木県立鹿沼東高等学校	07. 05
G2	第2回日中教育工学研究推進フォーラム「e-Learningを用いた授業改善と教師教育への対応」(講師)	関西大学千里キャンパス	07. 06
G3	宇都宮市教員研修「学習指導におけるデジタルコンテンツの活用」(講師)	宇都宮市教育センター	07. 07
G4	サマーセミナー「情報メディアの活用と学習指導」(講師)	宇都宮大学	07. 08
G5	免許法認定講習「情報教育」(講師)	宇都宮大学	07. 08
G6	栄養教諭養成講習「教育課程論」(講師)	宇都宮大学	07. 08
G7	佐野支部情報・メディア教育部会「学校校務における情報の活用法」(講師)	佐野市立西中学校	07. 08
G8	平成19年度情報モラル指導者研修「インターネットの安全な利用」(講師)	栃木県総合教育センター	07. 11
G9	第2回姿川第二子ども安全地域連絡会議「インターネットや携帯電話の危険について」(講師)	宇都宮市立姿川第二小学校	08. 02
G10	教員養成のためのモジュール型コア教材 (現代GP)フォーラム「ICT活用編」(発表者)	東京学芸大学	08. 02
I1	リアルタイムでの習熟度別グループ学習を支援するネットワーク型教材の開発と評価 (代表)	平成17-19年度科学研究費補助金, 若手研究 (B)	
I2	授業改善を図るeラーニング用コンテンツの開発促進事業 (分担)	平成19年度教育改革・改善支援経費	

## 遠藤 忠

A1	教育改革の国際比較 (分担)		07. 09
D1	特別活動の教育的意義 (単著)	道徳と特別活動 vol. 24 No.5	07. 07
E1	ハバロフスク地方及びハバロフスク市におけるキャリア教育の現状 (共著)	科研費報告書「ロシアのキャリア教育に関する総合的調査研究」基盤研究 (B)	08. 03

E2	サンクトペテルブルク市の職業指導・職業教育の現状（単著）	科研費報告書「ロシアのキャリア教育に関する総合的調査研究」基盤研究（B）	08. 03
F1	「持ち上がり」慣行と学級会の生成について	日本カリキュラム学会	07. 07
F2	特別活動の戦後史について	日本特別活動学会	07. 08
I1	ロシアのキャリア教育に関する総合的調査研究（分担）	平成19年度科学研究費補助金、基盤研究（B）	
川原 誠司			
D1	現職教員を対象にした「教育臨床心理研究会」の試み	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要、第30号、pp. 77-84	07. 07
D2	教育心理学関連の教職専門科目に関する意識涵養の取り組み	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要、第30号、pp. 85-92	07. 07
E1	臨床心理研究分野での臨床的活動の報告（2006年度）	宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要、第30号、pp. 585-593	07. 07
F1	不登校の子どもに教育心理学的な働きかけが可能になるには 一子どもに関わる他機関との齟齬の省察一	日本児童青年精神医学会第48回総会（盛岡・南光病院）	07. 11
F2	中学生の怒り感情の建設化について 一3つの仮想場面での検討一（共同）	日本発達心理学会第19回総会（大阪・追手門学院大学）	08. 03
G1	子育てと自分育ち一保護者が自分に向き合うことの意味一	宇都宮市立本郷北小学校PTA	07. 07
G2	幼児期での精神バランス涵養の重要性一児童期・青年期の教育臨床の現場から見て一	栃木県幼稚園連合会保育セオリー講座	07. 10
G3	生徒指導力とは？一教員に意識してもらいたいものの一	栃木県高等学校教育研究会生徒指導部会中部地区研究大会	07. 11
G4	サマーセミナー「教育心理学研究の基礎の基礎」（講師）	宇都宮大学	07. 08
H1	いじめの統計数値に関する取材・コメント	読売新聞栃木版	07. 11
J1	大学広報誌への研究室紹介	UUnow 第12号	08. 02
J2	「教育臨床心理研究会」（11回開催）	宇都宮大学	07. 05 ～
J3	「教育臨床学習会」の実施（第1回「不登校という状態の意味を考える」、第2回「教師のメンタルヘルスを考える」）	宇都宮大学	08. 02
J4	教育相談活動：教育実践総合センター教育臨床部門相談室にてのべ75回実施（関連する手紙、Fax、メールが計149通）	宇都宮大学	07. 04 ～
J5	教師を対象にしたコンサルテーション：教育実践総合センター教育臨床部門相談室にてあるいは学校に出向いて、計11回	宇都宮大学	07. 04 ～